

平成 27 年度 P 調査問題 中学校 1 年数学 (1)

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

(答えはすべて解答用紙に書きましょう。)

【 1 】 次の計算をしなさい。

(1) $4.6 - 0.21$

(2) $\frac{3}{7} - \frac{2}{5}$

【 2 】 下にあげた 4 つの式で、●は、0 より大きい数を表わしています。


計算の答えが●の表す数より大きくなるものを、下のアからエまでのの中からすべて選び、その記号を書きなさい。

ア $\bullet \times 1.2$

イ $\bullet \times 0.7$

ウ $\bullet \div 1.3$

エ $\bullet \div 0.8$

【 3 】 右下の図のような、たてが 6 m、横が 9 m の長方形をした花だんがあります。この中に、たてが 3 m、横が 5 m の長方形の  の部分があります。

 の部分のまわりにロープをはります。 の部分のまわりにはるロープの長さは、どのような式で求められますか。

次のアからオまでのの中から 2 つ選んで、その番号を書きましょう。

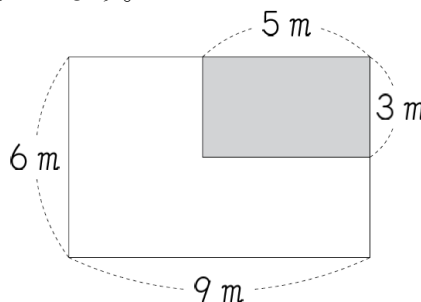
ア $5 + 3$

イ 5×3

ウ $5 + 3 + 5 + 3$

エ $5 \times 3 \times 2$

オ $(5 + 3) \times 2$



【 4 】 8 m の重さが 4 kg の棒があります。

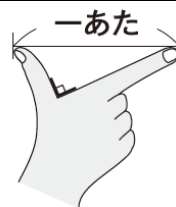
この棒の 1 m の重さは何 kg ですか。求める式と答えを書きましょう。


【 5 】 まことさんは、使いやすいはしの長さのめやすについて発表します。

使いやすいはしの長さのめやす

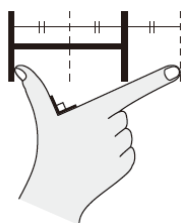
使いやすいはしの長さのめやすは、「^{ひと}一あた半」と言われています。
一あは、親指と人差し指を直角に広げたときのそれぞれの指先を結んだ長さです。

一あた半は、一あを 1.5 倍した長さです。

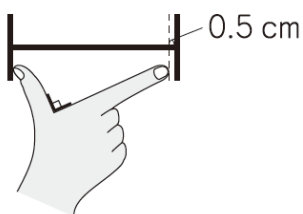


下のアからエまでのの中から、一あた半の長さを表しているもの () を 1 つ選んで、その記号を書きましょう。

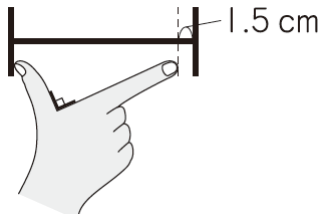
ア



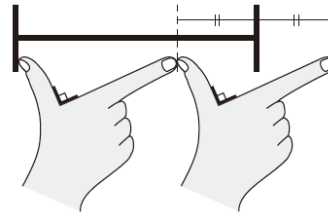
イ



ウ



エ



平成 27 年度 P 調査問題 中学校 1 年数学 (2)

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

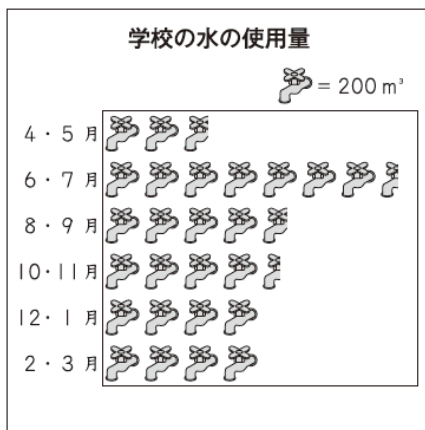
【6】 答えが $100 - 20 \times 4$ の式で求められる問題を、下のアからエまでの中から 1 つ選んで、その記号を書きなさい。

- ア 1 個 100 円のガムを 1 個と、1 個 20 円のアメを 4 個買いました。代金はいくらですか。
- イ 100 円玉を 1 枚持って買い物に行きました。1 個 20 円のアメを 4 個買いました。おつりはいくらですか。
- ウ 1 本 100 円のペンと 1 本 20 円のえんぴつを、4 本買いました。代金はいくらですか。
- エ 1 本 100 円のペンが 20 円引きで売られています。そのペンを 4 本買いました。代金はいくらですか。

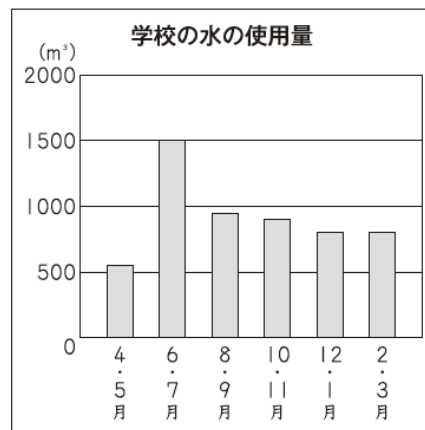
【7】 あきらさんは、6・7月の水の使用量が1年間の水の使用量の $\frac{1}{4}$ より多いことを説明します。

下の 1 から 4 までのどのグラフを使うと最もわかりやすいですか。
1 つ選んで、その番号を書きましょう。

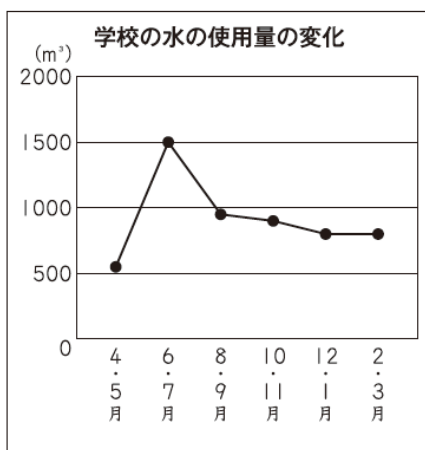
1 絵グラフ



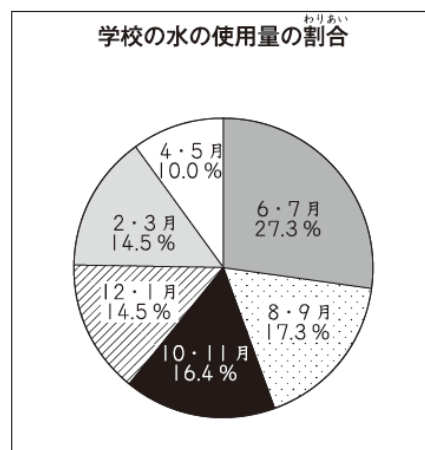
2 棒グラフ



3 折れ線グラフ



4 円グラフ



平成 27 年度 P 調査問題 中学校 1 年数学 (3)

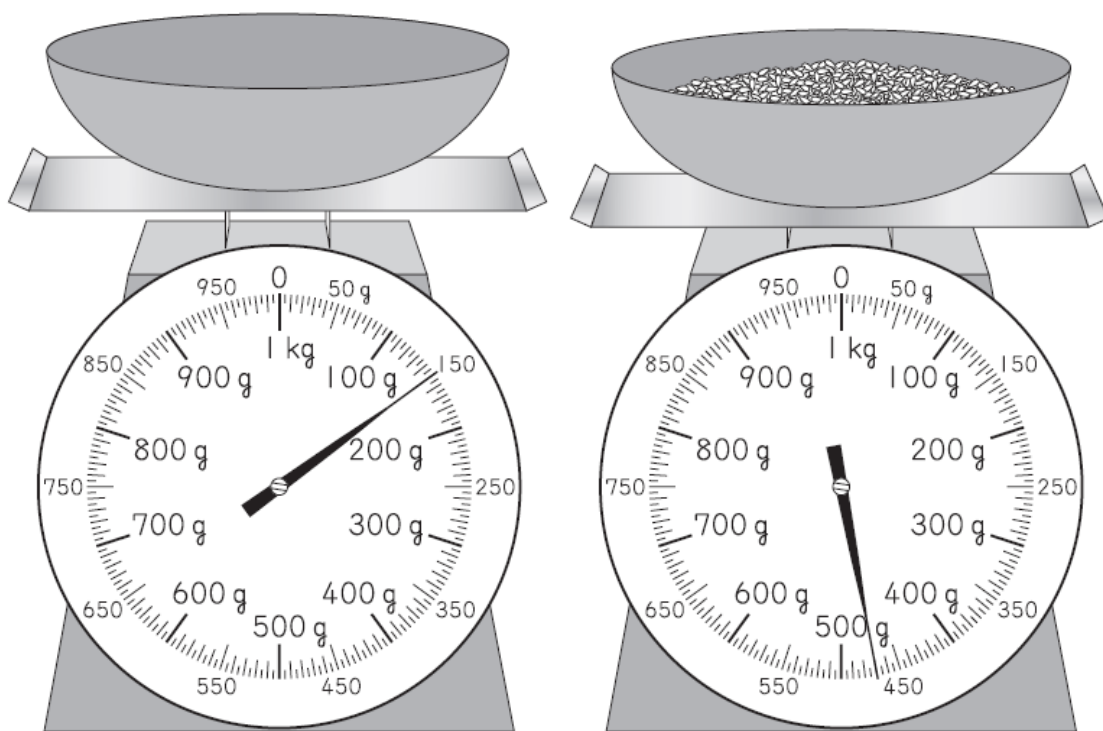
1 年 () 組 () 番 氏名 ()

- 【 8 】 ひろしさんの学級では、調理実習でごはんをつくることにしました。
ごはんを作るときの 1 人分の材料と分量は次のとおりです。

1 人分の材料と分量

| |
|---|
| 米・・・80 g 水・・・120 g (水は米の重さの 1.5 倍です。) |
|---|

ひろしさんは、班で使う米の重さをはかります。
最初に容器だけをはかりにのせたら、はかりの目もりは図アになりました。
次に米を入れると、はかりの目もりは図イになりました。



図ア

図イ

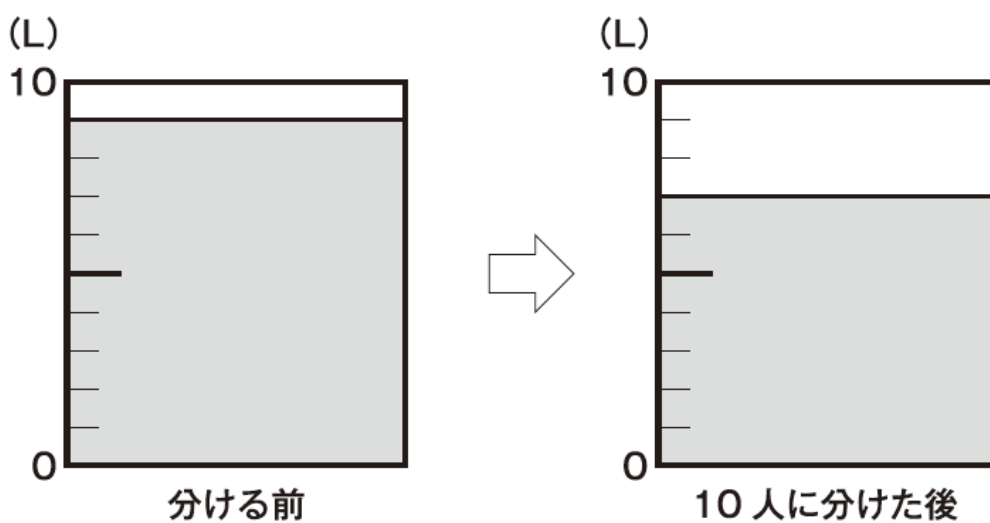
ひろしさんの班がごはんを作るのに必要な水の重さは、何 g になりますか。
求め方を式や言葉で書きましょう。また、答えも書きましょう。

平成 27 年度 P 調査問題 中学校 1 年数学 (4)

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

【9】 ともみさんは、食事の準備で、右のような入れ物に入っているスープを分けることになりました。

ともみさんは、玉じゃくし 1 ばいを 1 人分として、40 人に分け始めました。すると、分ける前と 10 人に分けた後では、下の図のようになりました。



この分け方で、残りの 30 人にスープを分けることができますか。次の 1 から 3 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉と数を使って書きましょう。

- 1 足りなくなって、分けることができない。
- 2 残さず分けることができる。
- 3 分けることはできるが、残る。

平成 27 年度 P 調査問題中学校 1 年数学 解答用紙

正答数

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

問 / 10 問

| | |
|------------|--|
| 【1】 (1) | |
| 【1】 (2) | |

| | |
|-----|--|
| 【2】 | |
|-----|--|

| | |
|-----|--|
| 【3】 | |
|-----|--|

| | |
|-----|---------|
| 【4】 | 式 |
| | 答え kg |

| | |
|-----|--|
| 【5】 | |
|-----|--|

| | |
|-----|--|
| 【6】 | |
|-----|--|

| | |
|-----|--|
| 【7】 | |
|-----|--|

| | |
|-----|--------|
| 【8】 | 求め方 |
| | 答え g |

| | |
|-----|----|
| 【9】 | 番号 |
| | わけ |

平成 27 年度 P 調査問題中学校 1 年数学

解答(例)

1 年 () 組 () 番 氏名 ()

| | |
|------------|----------------|
| 【1】 (1) | 4.39 |
| 【1】 (2) | $\frac{1}{35}$ |

| | |
|-----|------|
| 【2】 | ア, エ |
|-----|------|

| | | |
|-----|---|---|
| 【3】 | ウ | オ |
|-----|---|---|

| | | |
|-----|----|------------|
| 【4】 | 式 | $4 \div 8$ |
| | 答え | 0.5 kg |

| | |
|-----|---|
| 【5】 | エ |
|-----|---|

| | |
|-----|---|
| 【6】 | イ |
|-----|---|

| | |
|-----|---|
| 【7】 | 4 |
|-----|---|

| | |
|-----|--|
| 【8】 | <p>求め方</p> <p>例 1) 容器に米を入れた重さは 470 g で, 容器の重さは 150 g だから, $470 - 150 = 320$ で, 米の重さは 320 g になります。</p> <p>水の重さは米の重さの 1.5 倍なので, $320 \times 1.5 = 480$ で, 水の重さは 480 g になります。</p> |
| | <p>例 2) 容器に米を入れた重さは 470 g で, 容器の重さは 150 g だから, $470 - 150 = 320$ で, 米の重さは 320 g になります。</p> <p>1 人分の米の重さは 80 g なので, $320 \div 80 = 4$ で, 班の人数は 4 人になります。1 人分の水の重さは 120 g だから, $120 \times 4 = 480$ で, 水の重さは 480 g になります。</p> |
| | <p>答え</p> <p style="text-align: right;">480 g</p> |

| | | |
|-----|--|---|
| | 番号 | 3 |
| 【9】 | わけ | |
| | <p>例)</p> <p>10 人分のスープの量は, $9 - 7 = 2$ で, 2 L です。</p> <p>残りの 30 人に必要なスープの量は, $2 \times 3 = 6$ で, 6 L です。</p> <p>10 人に分けた後では 7 L 残っているので, 30 人に分けると, $7 - 6 = 1$ で, 1 L 残ります。</p> <p>だから, 分けることはできますが, 残ります。</p> | |

中学校 1 年数学【1】解説シート

◆出題の趣旨

- ・ 小数第 2 位までの減法「(小数) - (小数)」の計算をすることができるかどうかをみる。
- ・ 異分母の分数の減法の計算をすることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

[第 4 学年] A 数と計算

(5) 小数とその加法及び減法についての理解を深めるとともに、小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

イ 小数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

[第 5 学年] A 数と計算

(4) 分数についての理解を深めるとともに、異分母の分数の加法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにする。

オ 異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。

◆解答類型 (1)

| 1◎ | 4.39 と解答しているもの | 人 | % |
|----|-------------------------|---|---|
| 2 | 0.25, 2.5, 25 と解答しているもの | | |
| 3 | 4.49 と解答しているもの | | |
| 4 | 4.41 と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

(2)

| 1◎ | $\frac{1}{35}$ と解答しているもの (大きさの等しい分数を含む) | 人 | % |
|----|--|---|---|
| 2 | $\frac{1}{2}$ と解答しているもの | | |
| 3 | 類型 1 以外で、分母が 35 である分数を解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

- 基礎的な計算技能については、その習熟や維持を図るために、学習する学年以降も適宜練習の機会を設けて継続して指導する必要がある。
- 異分母の分数の減法は、通分して単位をそろえることで、同分母の分数の減法と同じように処理できることを理解することが大切である。解答を誤った生徒には、 $\frac{3}{7}$ と大きさが等しい分数を図などを用いて見付ける活動や、 $\frac{3}{7}$ と $\frac{2}{5}$ の分母が共通な分数を図や数直線などを用いて見付ける活動を取り入れることが考えられる。それらのことから、分数には大きさが等しい分数がいくつもあることや、通分とは分母が違う分数を分母が共通な分数に直すことであることを理解できるように指導することが大切である。

中学校 1 年数学【2】解説シート

◆出題の趣旨

小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解しているかをみる。

◆学習指導要領との関連

第5学年 A 数と計算

(3) 小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。

イ 乗数や除数が整数の場合の計算の仕方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。

ウ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。

◆解答類型

| 1◎ | ア, エ と解答しているもの | 人 | % |
|----|----------------|---|---|
| 2 | ア と解答しているもの | | |
| 3 | エ と解答しているもの | | |
| 4 | ア, イ と解答しているもの | | |
| 5 | ア, ウ と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

○数直線や図などを用いたり、具体的な場合に当てはめたりして数量の関係をとらえられるようにして、乗法と積の大きさ、除法と商の大きさの関係を調べる活動を取り入れることが大切である。このことは、数の範囲を負の数まで拡張した場合も大切にしたい。

○問題を解決する際に、有効な手だての一つとして、簡単な場合に置き換えて考えることがある。例えば、本問題の選択肢エの式で簡単に計算ができるように、●に8を当てはめて除数と商の大きさの関係を調べることができる。文字式の指導の場面でも、このように簡単な場合に置き換えて考える活動を通して、生徒が問題を解決する手がかりをもてるようにすることが大切である。

中学校 1 年数学【3】解説シート

◆出題の趣旨

長方形のまわりの長さの求め方について理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第3学年 C 図形

(1) ものの形についての観察や構成などの活動を通して、基本的な図形について理解できるようにする。

イ 図形を構成する要素に着目して、正方形、長方形、直角三角形について知り、それらをかいたり、作ったり、平面上で敷き詰めたりすること。

[第4学年] D 数量関係

(2) 数量の関係を式で簡潔に表したり、それをよんだりすることができるようにする。

ア 四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算すること。

◆解答類型

| | | | |
|----|-------------------------------------|---|---|
| 1◎ | ウ, オ と解答しているもの | 人 | % |
| 2 | ウのみ を正しく解答しているもの (イ, ウと解答しているものを除く) | | |
| 3 | オのみ を正しく解答しているもの (イ, オと解答しているものを除く) | | |
| 4 | イ が含まれているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◆学習指導にあたって

- 長方形のまわりの長さや面積を混同しないように指導する必要がある。例えば、面積を求める式とまわりの長さを求める式とを対比して考えさせたり、面積がまわりの長さだけでは決まらないことを扱ったりすることが考えられる。
- 具体的な場面を基にするなどして、() を用いた式の意味を理解できるようにする必要がある。例えば、この問題のような長方形のまわりの長さを求める場面において、二通りの求め方を式に表したり、式をよんだりする活動を行うことが考えられる。

中学校 1 年数学【4】解説シート

◆出題の趣旨

商が 1 より小さくなる等分除「(整数)÷(整数)」の場面で、除法が用いられることを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第 5 学年 A 数と計算

(3) 小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。

ア 乗数や除数が整数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。

ウ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解

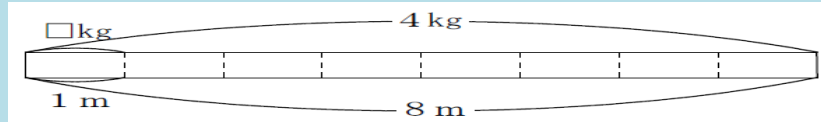
◆解答類型

| | | | |
|----------------------------|------------------------------------|---|-----|
| ※ 式については、答えの有無や答えの正誤は問わない。 | | | |
| | 式 | 答え | 人 % |
| 1◎ | 4 ÷ 8 と解答しているもの | 0.5 と解答しているもの | |
| 2◎ | | $\frac{4}{8}$ と解答しているもの (大きさの等しい分数を含む) | |
| 3 | | 2 と解答しているもの | |
| 4 | | 上記以外の解答 | |
| 5 | 8 ÷ 4 と解答しているもの | | |
| 6 | 8 × 4 と解答しているもの 4 × 8 と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

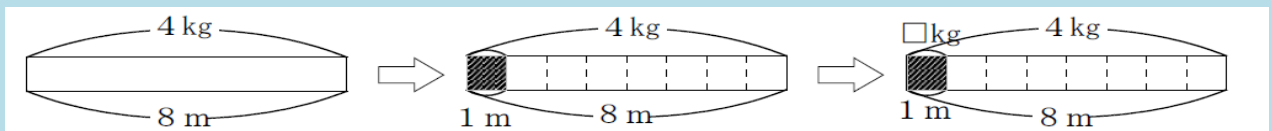
○ 商が1より小さくなる等分除「(整数)÷(整数)」の場面では、何が被除数で、何が除数かをとらえて立式できるようにすることが必要である。例えば、本問題では、下のような図をかく活動を取り入れ、1 m分の重さを求めるために4 kgを8等分すればよいことを理解できるようにすることが大切である。



具体的には、次のことを丁寧に確認し、「 $4 \div 8$ 」と立式できるようにすることが考えられる。

- ・長さで考えると、1 mは、8 mを8等分した1つ分。
- ・重さで考えると、1 mの重さは、8 mの重さ4 kgを8等分した1つ分。

また、上のような図を初めから自由に生徒にかかせるだけでなく、完成された図を提示しておいて考える活動を取り入れることも考えられる。さらに、図の一部分を示しておいて、棒の1 mの長さに色を塗らせる活動を取り入れ、8 mを8等分した1つ分が1 mであることを実感的に理解できるようにすることも考えられる(下図参照)。このように、生徒の実態や授業のねらいに応じて図を用いる活動を工夫することが必要である。



中学校1年数学【5】解説シート

◆出題の趣旨

示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択できるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第5学年 A 数と計算

(3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。

ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。

◆解答類型

| | | | |
|----|---|---|---|
| 1 | ア と解答しているもの (一あたりの $\frac{2}{3}$ 倍の長さを表している図) | 人 | % |
| 2 | イ と解答しているもの (一あたりに 0.5cm 足した長さを表している図) | | |
| 3 | ウ と解答しているもの (一あたりに 1.5cm 足した長さを表している図) | | |
| 4◎ | エ と解答しているもの (一あたりの 1.5 倍の長さを表している図) | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

- 小数倍の意味を図と関連付けることで、基準量や比較量の関係を的確に捉えることができるようにすることが大切である。
- 問題の場面から、基準量と比較量を捉え、数量の関係（基準量、比較量、割合）を図に表したり、図から読み取ったりすることが大切である。本設問では、「一あた半は、一あたを1.5倍した長さです。」という設問中の文章から、基準量が「一あた」、比較量が「一あた半」、割合が「1.5倍」と、数量の関係を捉えることが必要である。その関係を図で表したり、図から読み取ったりすることが、割合を量と区別して捉える上で大切である。指導に当たっては、例えば、本設問を用いて、一あたの2倍や1.5倍の大きさを図で表現することで、基準量と比較量の関係を的確に捉えることができるようにしたい。その際、具体的な場면을数直線のような抽象的な表現に高めていくことで、既習の倍の関係と同じようにみることが大切である。

中学校1年数学【6】解説シート

◆出題の趣旨

四則の混合した式の意味について理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第4学年 D 数量関係

- (2) 数量の関係を表す式について理解し、式を用いることができるようにする。
 - ア 四則の混合した式や()を用いた式について理解し、正しく計算すること。

◆解答類型

| 1 | ア と解答しているもの (答えが $100+20\times 4$ の式で求められる) | 人 | % |
|----|---|---|---|
| 2◎ | イ と解答しているもの (答えが $100-20\times 4$ の式で求められる) | | |
| 3 | ウ と解答しているもの (答えが $(100+20)\times 4$ の式で求められる) | | |
| 4 | エ と解答しているもの (答えが $(100-20)\times 4$ の式で求められる) | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

- 式を読んで場面を言葉や図を用いて表したり、場面をより簡潔な式で処理したりできるようにすることが重要である。また、四則を混合させたり()を用いたりして一つの式に表すことは、数量の関係を簡潔に表すことができるなどのよさがあることを理解できるようにすることが大切である。
- 指導に当たっては、四則の混合した式や()を用いた式の指導において、具体的な場面に対応させながら、事柄や関係を式に表すことが考えられる。その際、いくつかの式を一つの式にまとめて処理することも大切である。また逆に、式から言葉や図を用いて具体的な場面を構成することも考えられる。その際、()を用いたり、乗法、除法を用いたりして表された式が一つの数量を表すことを確実に理解できるようにすることが大切である。また、四則の混合した式や()を用いた式を処理する際、乗法、除法を加法、減法より先に計算すること、()の中を先に計算することなどのきまりがあることを理解できるようにし、継続的に指導していくことが必要である。

中学校 1 年数学【7】解説シート

◆出題の趣旨

全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

[第3学年] D 数量関係

(3) 資料を分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり読み取ったりすることができるようにする。

ア 棒グラフの読み方やかき方について知ること。

[第4学年] D 数量関係

(4) 目的に応じて資料を集めて分類整理し、表やグラフを用いて分かりやすく表したり、特徴を調べたりすることができるようにする。

イ 折れ線グラフの読み方やかき方について知ること。

[第5学年] B 量と測定

(2) 体積について単位と測定の意味を理解し、体積を計算によって求めることができるようにする。

ア 体積の単位（立方センチメートル（ cm^3 ）、立方メートル（ m^3 ））について知ること。

[第5学年] D 数量関係

(4) 目的に応じて資料を集めて分類整理し、円グラフや帯グラフを用いて表したり、特徴を調べたりすることができるようにする。

◆解答類型

| | | | |
|----|---------------------|---|---|
| 1 | 1 と解答しているもの（絵グラフ） | 人 | % |
| 2 | 2 と解答しているもの（棒グラフ） | | |
| 3 | 3 と解答しているもの（折れ線グラフ） | | |
| 4◎ | 4 と解答しているもの（円グラフ） | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

○目的に応じて、適切な表やグラフを選択し、表したり、読み取ったり、判断をしたりする活動をとおして、表やグラフを算数の学習のみならず、他教科等の学習や生活に活用できるようにすることが大切である。表やグラフの表し方について工夫したり、また、それらを関連付けて読みとったり、判断したりするなどの活動を十分に行うことが大切である。

○指導に当たっては、例えば、本設問を用いて、4つのグラフ（絵グラフ・棒グラフ・折れ線グラフ・円グラフ）を提示し、目的に応じたグラフを選択することが考えられる。その際、それぞれのグラフから何を読みとることができるかについて確認することが大切である。そのことにより、絵グラフや棒グラフについては「数量の大きさやちがいのわかりやすさ」、折れ線グラフについては「数量の変化のわかりやすさ」、円グラフについては「全体と部分の関係のわかりやすさ」など、それぞれのグラフがもつ特徴が明確になる。その上で、「6・7月の水の使用量が1年間の使用量のより多いことを説明するのに最もわかりやすいグラフはどれですか。」と問いかけるなどして、目的に応じてグラフを選択する活動につなげることが考えられる。

中学校 1 年数学【8】解説シート

◆出題の趣旨

はかりを適切に読みとり、与えられた条件を基に筋道を立てて考え、重さの求め方を式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

[第3学年] B 量と測定

(1) 長さについての理解を深めるとともに、重さについて単位と測定の意味を理解し、重さの測定ができるようにする。

[第5学年] A 数と計算

(3) 小数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、それらを用いることができるようにする。

ア 乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。

[第5学年] B 量と測定

(4) 異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について、その比べ方や表し方を理解できるようにする。ア 単位量当たりの大きさについて知ること。

◆解答類型

(正答の条件)

次のAまたはBのいずれかで、それぞれA①、A②またはB①、B②、B③の全てを書き、答えを480(g)と解答している。

A 「水は米の重さの1.5倍です」を使って説明している

A① 図イの目盛り(470g)と図アの目盛り(150g)から米の重さ(320g)を求める式や言葉

A② 米の重さ(320g)を1.5倍して水の重さを求める式や言葉

B 1人分の水の重さ120gを使って説明している。

B① 図イの目盛り(470g)と図アの目盛り(150g)から米の重さ(320g)を求める式や言葉

B② 米の重さ(320g)を基に、班の人数(4人)を求める式や言葉

B③ 1人分の水の重さ120gを班の人数倍している式や言葉

| | 求め方 | 答え | 人 | % |
|----|---|------------------------|---|---|
| 1◎ | A①、A②の全てを書いているもの | 480 と解答しているもの | | |
| 2◎ | B①、B②、B③の全てを書いているもの | | | |
| 3○ | A②を書いているもの 例 米の重さは320gだから、 $320 \times 1.5 = 480$ で、480gです。 B②、B③を書いているもの 例 米の重さは320gだから、 $320 \div 80 = 4$ 、 $120 \times 4 = 480$ で480gになります。 | | | |
| 4 | 類型1から類型3 以外の解答 | 480 以外を解答しているもの 無解答 | | |
| 5 | 類型1から類型3 を解答 | | | |
| 6 | 米の重さ(320g)を書いているもの | | | |
| 7 | 類型1から類型6以外で、 $\bigcirc \times 1.5$ の形の式を書いているもの (米の重さが間違っているもの) | | | |
| 8 | 類型1から類型7以外で、 $\bigcirc \div 80$ の形の式を書いているもの (米の重さが間違っているもの) | | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | | |
| 0 | 無解答 | | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

- 筋道を立てて考え、必要な数量を求めるために情報を適切に把握することが重要である。必要な数量を求める際に、問題場面から必要な情報を選択したり、情報を組み合わせたりして解決の見通しを立てることが大切である。例えば、本設問では、下の図アから容器の重さが分かり、図イから米の重さと容器の重さを合わせた重さが分かるという意味を捉え、米の重さは二つの目盛りの差であることに気付くことが求められる。その際、それぞれはかりの目盛りを的確に読みとることが求められる。また、「水は米の重さの 1.5 倍」という情報にも着目することが必要になる。このように情報を適切に把握することで、水の重さを求めることができる。
- 指導に当たっては、与えられた数量やそれらの関係を整理し、問題を解決するためには、どの情報をどの順序で使えばよいのかについて、解決の見通しを立てて処理していくことが大切である。例えば、解決に複数の段階が必要な状況を取り入れ、解決の見通しを明確にして情報を選択するとともに、解決の過程を記述し説明する活動を取り入れることが考えられる。

中学校 1 年数学【9】解説シート

◆出題の趣旨

示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

[第2学年] B 量と測定

(2) 体積について単位と測定の意味を理解し、体積の測定ができるようにする。

ア 体積の単位（ミリリットル、デシリットル、リットル）について知ること。

[第5学年] B 量と測定

(4) 異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について、その比べ方や表し方を理解できるようにする。

ア 単位量当たりの大きさについて知ること。

◆解答類型

(正答の条件)

番号を 3 と解答し、次の①, ②, ③, ④の全てまたは①, ②, ③を書いている。

① 10 人分のスープの量が 2 Lであることを示す数と言葉

② 30 人に必要なスープの量が 6 Lになること、または、40 人に必要なスープの量が 8 Lになることを示す数と言葉

③ 10 人に分けた後のスープの量が 7 Lであること、または、分ける前のスープの量が 9 Lであることを示す数と言葉

④ 1 L残ることを示す数と言葉

(正答例)

10人分のスープの量は、 $9 - 7 = 2$ で、2Lです。

残りの30人に必要なスープの量は、 $2 \times 3 = 6$ で、6Lです。

10人に分けた後では7L残っているので、30人に分けると、 $7 - 6 = 1$ で、1L残ります。

だから、分けることはできますが、残ります。

| | 番号 | わけ | 人 | % |
|---|---------|-----------------------|---|---|
| 1 | ◎ | ①, ②, ③, ④の全てを書いているもの | | |
| | | ①, ②, ③を書いているもの | | |
| 2 | ○ | ①, ②, ④を書いているもの | | |
| 3 | ○ | ②, ③, ④を書いているもの | | |
| | | ②, ③を書いているもの | | |
| | | ②, ④を書いているもの | | |
| 4 | 3 と解答 | ①, ②を書いているもの | | |
| | | ②を書いているもの | | |
| 5 | | ①, ③, ④を書いているもの | | |
| | | ①, ③を書いているもの | | |
| | | ③, ④を書いているもの | | |
| | | ③を書いているもの | | |
| 6 | | 類型1から類型5以外の解答 無解答 | | |
| 7 | 1 と解答 | | | |
| 8 | 2 と解答 | | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | | |
| 0 | 無解答 | | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

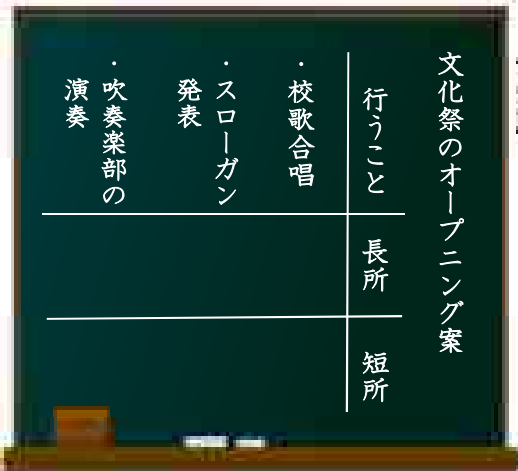
◆学習指導にあたって

- 問題を解決した過程を説明する際には、問題(文章や図、表、グラフ等)から必要となる情報を選択するとともに、根拠となる事実を関連付けて、判断の理由を的確に示すことが大切である。
- 指導にあたっては、例えば、本設問を用いて、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを判断し説明することが考えられる。その際、スープを分けることができるかどうかを判断するためには、どのような根拠が必要になるのか、解決の見通しを明確にすることが大切である。また、見通しに基づいて、30人に必要なスープの量と残りの量を比較するために、それぞれの量を示された情報から的確に求めることが大切である。さらには、「10人分のスープの量が2Lなので、1L残る」といった判断の根拠となる事実が不足している説明を基に、よりよい表現に洗練していくことも考えられる。

※答えはすべて解答用紙に書きましょう。

- 1 山川さんの中学校の生徒会では、「文化祭のオープニングは何を行うか」をテーマにした話し合いをしています。次は、その行うことが書かれた【黒板】と【話し合いの一部】です。司会は、山川さんです。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【黒板】



【話し合いの一部】

北 私は、全校生徒の校歌合唱から始めるのがよいと思います。出し物に合唱を選んでいる学級も多いので、声を出す練習にもなるとよいと思います。

長澤 私は、実行委員長がスローガンを言うのがよいと思います。

山川 長澤さんは、なぜそう思うのですか。

長澤 スローガンを言えば、この会の目的がはっきりすると思うからです。

早見 雰囲気ぶんいきが盛り上がるので、吹奏楽部の演奏すいで始めるのがよいと思います。

山川 (話し合いは続く) A

- 一 話し合いには、①意見を広げる場合 と ②意見を一つにまとめる場合 などがあります。山川さんたちが行っている話し合いはどちらの話し合いか、①、②で答えなさい。

- 二 線部「なぜ、そう思うのですか」という司会の山川さんの発言は、この場面ではどのような役割を果たしていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 話し合いの目的を確認する役割。
- 2 考えの理由を明確にする役割。
- 3 発言の内容を要約する役割。
- 4 様々な意見をまとめる役割。

- 三 山川さんは司会の役割を果たすために、Aでどのような発言をしたらよいか、次のア、イの問いに答えなさい。

- ア 出された三つの意見を比較・検討する目的の発言をAでしようと考えました。山川さんはどのように言えばよいですか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 【黒板】を参考にして書くこと。

条件2 二十五字以上、三十五字以内で書くこと。

- イ ア以外の目的で、司会者として適切な発言を、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 私は、長澤さんの意見に賛成です。
- 2 早見さんは、なぜ吹奏楽の演奏で始めるのがよいと思うのですか。
- 3 このことについて、他に意見はありませんか。
- 4 一番始めに行うことは、吹奏楽部の演奏に決まりました。

- 2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(1から3は、段落番号を表します。)

世界遺産に登録される基準は10個

- 1 世界遺産に選ばれるためには、10個ある基準のうちのひとつを満たしていて、なおかつしっかりと保護と管理をしていく体制が整っていることが必要。10個の基準のうち、6つは文化遺産で、4つが自然遺産の基準です。その両方で基準が満たされていると、複合遺産になります。
- 2 文化遺産の基準は、歴史上で重要な建築だったり、貴重な文化の証拠であったり、芸術としての特別な価値があったりすることです。自然遺産のほうは、ほかにない自然現象や美しさがあること、地球の歴史や生命の進化の上で重要な地形や地質、生物が見られること、絶滅危惧種をふくむ生物多様性が保たれた野生の自然があることなどが基準になっています。
- 3 どの基準もとても厳しく審査された上で、いろいろな名所や建物などが、世界遺産として登録されているのです。

(全国学力学習状況調査授業アイデア例
「小学生のための世界自然遺産プロジェクト ユネスコキッズ」<http://www.unesco-kids.com/pc/isan/>に学ぶ。)

- 1 2 段落の役割について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 段落で示された基準の中身を具体的に述べている。
- 1 段落で示された基準と反する事実を紹介している。
- 1 段落で示された基準に対する反論を述べている。
- 1 段落で示された基準に対する疑問を述べている。

- 2 この文章を読み、疑問点や関心をもったことを基にして、さらに知りたいこと、調べたいこと(課題)を鈴木さんは次のように考えました。

「富士山はどのようにして世界遺産に認定されたのだろうか」

この課題は、どのようなことを調べるものですか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 理由や根拠を掘り下げて調べること。
- 2 状況や経緯、様子を詳しく調べること。
- 3 課題解決のための手段や方法を詳しく調べること。
- 4 共通点や相違点を明らかにして比較して調べること。

- 3 鈴木さんの課題についてあなたなら何を使って調べますか。調べる手段を、次の①から③までの中から一つ選び(どの「調べる手段」を選んでいいかわかりません。)、その手段を用いて「どのようにして情報を集めるのか」を二十字以上、五十字以内で書きなさい。

なお、「③ その他」を選んだ場合は、あなたの考える調べる手段を解答用紙の()に書きなさい。

「調べる手段」

- ① 学校図書館 ② インターネット ③ その他

- ③ 落語は、一人の演者が、座ったまま何人も登場人物を演じ分けて物語を表現する日本の伝統的な芸能です。北川さんたちは落語「まんじゅうこわい」の演じ方を考えています。次の【「まんじゅうこわい」のあらすじとせりふの一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【「まんじゅうこわい」のあらすじとせりふの一部】

数人の若者が自分のこわいものを言い合っている。蛇だのクモだのと言い合う中で、松ちゃんは、「まんじゅうがこわい」と言い、話をしているだけで真つ青になり寝込んでしまう。そんな松ちゃんを、仲間たちははらかおうと話し合う。

【A】「おい、みんな。ひとつあいつをおどかしてやろうじゃないか。おれは、前から松のやつが気にいらねえんだ。蛇がこわいのはおかしいなんて、えらそうに言いやがって。みんなでいろんなまんじゅうを買ってきて、あいつの枕元に山ほど積み上げて見せれば、あいつ、起きたとたんにこわがってひっくり返るぞ。」

まんじゅうを枕元に並べた仲間たちは、隣の部屋で様子をうかがう。起こされた松ちゃんは「まんじゅうこわい」と言いながら、まんじゅうを次々と平らげる。

【B】「ああ、大変だあ。こわい、こわいよう。おれがこわいっていうまんじゅうを、こんなに枕元に並べやがって……。ああ、こわい、ああ、まんじゅう。ああ、そばまんじゅう……。うん、なるほど。うう、こわい、こわい（次々と口に入れないながら）……。ああ、栗まんじゅう……。いいあんこだな。ああ、くずまんじゅう。みんな、甘くて……。うはは、こわい、こわい……。」「
だまされたことに気付いた仲間が、「本当は何がこわいのか」と聞くと、「今度はおいしいお茶がこわい」。

【Aの場面の演じ方を考え合っている話し合いの一部】

北川 「おれは、前から松のやつが気にいらねえんだ。」と言っているから、相当、松ちゃんに対して

怒りが積み重なっているんじゃないかな。

竹内 大きな声と大きな身振りで、周りの仲間を巻き込むように演じると、その怒りの気持ちが伝わるのではないかな。

中西 大きな声だと、松ちゃんに聞こえてしまうのではないかな。

- 一 【Aの場面の演じ方を考え合っている話し合いの一部】で出されている演じ方のポイントはどれですか。次の1から5までのうち、適切なものを二つ選びなさい。

- 1 声の大小 2 間のとり方 3 表情 4 体の向き 5 身振り手振り

- 二 ——線部「松ちゃんに聞こえてしまうのではないかな」と中西さんが考えたのは、落語の登場人物のどんな言動を根拠としていますか。【「まんじゅうこわい」のあらすじとせりふの一部】から書き抜きなさい。

- 三 【Bの場面を、あなたならどのように演じようと思いますか。あなたの考えを、あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。

- 条件1 松ちゃんの本当の気持ちを想像して書くこと。なお、その根拠を【「まんじゅうこわい」のあらすじとせりふの一部】にある松ちゃんの行動やせりふから引用して示すこと。（引用する部分は、かぎカッコ「」でくくること）。

- 条件2 五十字以上、八十字内で書くこと。

平成二十七年年度 P調査問題 中学校二年 国語 解答(例)

二年 組 番 氏名

1
②
2

正答数
問/10問

| | | |
|---|---|---|
| イ | 長 | 三 |
| 3 | 所 | つ |
| | と | の |
| | 短 | 意 |
| | 所 | 見 |
| | を | が |
| | 整 | 出 |
| | 理 | て |
| | し | い |
| | て | ま |
| | み | す |
| ま | が | |
| し | 、 | |
| よ | そ | |
| う | れ | |
| 。 | ぞ | |
| | れ | |
| | の | |

2
1
2

← 選んだ(調べる手段)一つに○を付けなさい。

| | | | | | |
|---|-------|---|---|---|-----------------------------|
| 三 | 調べる手段 | ① | ② | ③ | ※③を選んだ場合は、下に調べる手段を書きなさい。() |
| 百 | り | り | り | り | り |
| 科 | た | 、 | 、 | 、 | 、 |
| 事 | り | 、 | 、 | 、 | 、 |
| 典 | す | 世 | 世 | 世 | 世 |
| で | る | 界 | 界 | 界 | 界 |
| | 。 | 遺 | 遺 | 遺 | 遺 |
| 世 | | 産 | 産 | 産 | 産 |
| 界 | | に | に | に | に |
| 遺 | | 関 | 関 | 関 | 関 |
| 産 | | す | す | す | す |
| | | る | る | る | る |
| | | 本 | 本 | 本 | 本 |
| | | が | が | が | が |
| | | あ | あ | あ | あ |
| | | れ | れ | れ | れ |
| | | ば | ば | ば | ば |
| | | 借 | 借 | 借 | 借 |
| | | た | た | た | た |

3
1
5
(完答・順不同)

隣の部屋で様子をうかがう

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 三 | 松 | い | わ | だ | で |
| ち | る | が | ま | だ | 大 |
| や | 間 | っ | せ | げ | 大 |
| ん | に | て | て | げ | 大 |
| は | も | い | 喜 | に | 大 |
| | | る | ん | 言 | 大 |
| こ | は | | う | う | 大 |
| わ | は | は | い | い | 大 |
| い | は | は | し | る | 大 |
| | | | と | だ | 大 |
| こ | こ | 笑 | 、 | か | 大 |
| わ | わ | っ | 仲 | ら | 大 |
| い | い | て | 間 | 、 | 大 |
| | | い | を | 大 | 大 |
| と | と | る | う | 大 | 大 |
| 言 | 言 | | ま | 大 | 大 |
| っ | っ | | ま | 大 | 大 |
| て | て | こ | く | 大 | 大 |
| | | こ | く | 大 | 大 |

- 1 文化祭のオープニングに行くことを「一つにまとめる」ための話し合いです。「意見を広げる」ための話し合いには、「身近な言葉の問題点を話し合おう」などがあります。
- 2 「重要な建築だったり」や「野生の自然があることなど」等、基準の中身が具体的に書かれています。
- 3 認定されるまでの流れ（状況、経緯、様子）を詳しく調べる課題です。
- 1 文化祭のオープニングに行くことを「一つにまとめる」ための話し合いです。「意見を広げる」ための話し合いには、「身近な言葉の問題点を話し合おう」などがあります。
- 2 「重要な建築だったり」や「野生の自然があることなど」等、基準の中身が具体的に書かれています。
- 3 認定されるまでの流れ（状況、経緯、様子）を詳しく調べる課題です。
- 1 文化祭のオープニングに行くことを「一つにまとめる」ための話し合いです。「意見を広げる」ための話し合いには、「身近な言葉の問題点を話し合おう」などがあります。
- 2 「重要な建築だったり」や「野生の自然があることなど」等、基準の中身が具体的に書かれています。
- 3 認定されるまでの流れ（状況、経緯、様子）を詳しく調べる課題です。

- 2 【正答例】〈調べる手段〉③関係者の方に、登録にあたって苦労したことなどを問い合わせる。（三十字）
次のようなものは、誤答です。
- ・〈調べる手段〉②「富士山 世界遺産」で検索する。（文字数が二十字を越えていない。）
 - ・〈調べる手段〉①学校図書館に行つて、本で調べてみようと思う。（①を用いて、〈どのよう〉にして情報を集めるか）が書かれていない。）
- 3 松ちゃんに気付かれずに、からかおうとしている仲間の様子を抜き出します。
- 【正答例】松ちゃんは、まんじゅうのおいしさに満足していると思うので、笑顔で演じる。「うん、なるほど」とまんじゅうを味わっているし、実際に「次々と平らげ」ているからだ。（七十八字）
次のようなものは、誤答です。
- ・松ちゃんは、おいしいまんじゅうをたくさん食べて、仲間たちをうまくだませたと喜んでいると思うので、声を小さくしたり大きくしたりして演じます。（六十九字）
 - ・「まんじゅう」の「あらすじとせりふの一部」から「」を使って引用していない。）
 - ・松ちゃんは、「ああ、大変だあ。こわい、こわいよう。」と言っている。こわいという気持ちを表すために、困った顔で、震えた声で演じる。（六十三字）（松ちゃんの本当の気持ちが適切に書かれていない。）

平成 27 年度 P 調査 中学校 2 年国語 **1** 解説シート

◆出題の趣旨

- 話し合いをする際に、次のことができるかどうかをみる。
- ・話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たすこと。

◆学習指導要領との関連

〔第 1 学年〕 A 話すこと・聞くこと

- オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。

◆解答類型

人 %

| | | | | | | |
|---|--------|--------|--|--------------|--|--|
| 1 | 一 | 1◎ | 「②」と解答しているもの | | | |
| | | 9 | 「①」と解答しているもの | | | |
| | | 0 | 無解答 | | | |
| | 二 | 1◎ | 「2」と解答しているもの | | | |
| | | 9 | 「2」以外を解答しているもの | | | |
| | | 0 | 無解答 | | | |
| | | | (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 司会者として、出された三つの意見を比較・検討する内容を書いている。 ② 【黒板】を参考にして、「長所」「短所」という言葉を使って書いている。 ③ 25 字以上、35 字以内で書いている。 | | | |
| | | | (正答例) ・三つの意見が出ていますが、それぞれの長所と短所を整理してみましょう。(34 字) ・それぞれの意見には、どのような長所と短所がありますか。(27 字) | | | |
| | 三 ア | 1◎ | 条件①, ②, ③を満たしているもの | | | |
| | | 2 | 条件①, ②は満たしているが、条件③は満たしていないもの (例) 三つの長所と短所を挙げてください。(17 字) →上記の例は、文字数が 25 字を超えていない。 | | | |
| | | 3 | 条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) 三つの意見を比べてみて、発言をしてください。 →【黒板】を参考にして書いていない。 | | | |
| | | 4 | 条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。 (例) 長所と短所はなんですか。 →三つの意見を比較・検討して書いていない。 | | | |
| | | 9 | 上記以外の解答 | | | |
| | | 0 | 無解答 | | | |
| | | 三 イ | 1◎ | 「3」と解答しているもの | | |
| | 9 | | 「3」以外を解答しているもの | | | |
| | 0 | | 無解答 | | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

話し合いには、意見を広げる場合や意見を一つにまとめる場合などがある。その話し合いの目的に応じて方向を捉え、司会の役割を考える必要がある。題材の例は以下のようなものがある。

- ・ 意見を広げる題材の例
「身近でできるボランティア」「身近な言葉遣いの問題点」など
- ・ 意見を一つにまとめる題材の例
「修学旅行のグループ別コース」「学級文集のテーマ」など

話し合いの指導を行う際は、自分の考えを参加者に分かりやすく伝えることができるよう立場を明確にするとともに、考えの理由を明らかにして話すように指導することが大切である。

話し合いにおける司会の主な役割と具体的な発言例には、以下のものが考えられる。

- ・ 話し合いの目的を明確にすること
- ・ 参加者それぞれに発言の機会を与えること
「〇〇さんは、二人の意見を聞いてどう思いますか。」
- ・ 根拠や理由を明確にすること
「〇〇さんが、……と考えているのはなぜですか。」
- ・ 発言の内容を整理すること
「今の〇〇さんの考えは、……ということですね。」
- ・ 話し合いの結論を確認すること
「……については、……することに決まりました。」

(参照)

「平成25年度【中学校】解説資料」P. 16

http://www.nier.go.jp/13chousa/pdf/13kaisetsu_chuu_kokugo.pdf

「平成25年度【中学校】授業アイディア例」P. 7

<http://www.nier.go.jp/jugyorei/h25/pdf/idea-1-1.pdf>

平成27年度P調査 中学校2年国語 2 解説シート

◆出題の趣旨

文章を読んで、更に知りたいことを見いだして課題を決めることや、それを適切な方法で調べていくことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

[第1学年] B 書くこと

ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。

◆解答類型

人 %

| | | 1◎ | 「1」と解答しているもの | | |
|---|---|--|----------------|--|--|
| 2 | 一 | 9 | 「1」以外を解答しているもの | | |
| | | 0 | 無解答 | | |
| | | 1◎ | 「2」と解答しているもの | | |
| | 二 | 9 | 「2」以外を解答しているもの | | |
| | | 0 | 無解答 | | |
| | 三 | (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 a ①から③までの中のいずれか一つの〈調べる手段〉を選んで、その記号に○を付けている。 * ③を選んだ場合には、()の中に調べる手段を書いているものとする。 b 選んだ手段を用いて〈どのようにして情報を集めるのか〉を書いている。 c 20字以上、50字以内で書いている。 | | | |

| | | | | |
|---|---|--|--|--|
| 三 | <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ① を選んだ場合 百科事典で「世界遺産」について調べたり, 「世界遺産」に関する本あれば借りたりする。(42 字) ・ ② を選んだ場合 「富士山 世界遺産」と言葉を入れて検索する。(22 字) ・ ③ (メールや電話で問い合わせる) を選んだ場合 関係者の方に, 登録にあたって苦労したことなどを問い合わせる。(30 字) | | | |
| | 1◎ | <p>条件 a, b, c を満たしているもの なお, 次のものも正答とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 条件 b について, 選択した〈調べる手段〉を繰り返し書いているもの (例示の下線部は関係箇所) (例) ◎ ② <u>インターネットを使って,</u>「富士山 世界遺産」と言葉を入れて検索する。(34 字) ・ 条件 a, c を満たした上で, 調べた後のまとめ方などを付け足して書いているもの (例示の下線部は関係箇所) (例) ◎ ② 富士山の世界遺産登録に関わった団体のホームページを探して,<u>時間の流れにそってまとめる。</u>(43 字) | | |
| | 2 | <p>条件 a, b を満たし, 条件 c を満たさないで解答しているもの (例) ◎ ② 「富士山 世界遺産」で検索する。(16 字) →上記の例は, 文字数が 20 字を超えていない。</p> | | |
| | 3 | <p>条件 a, c を満たし, 条件 b を満たさないで解答しているもの (例) ◎ ① 学校図書館に行って, 本で調べてみようと思う。(22 字) →①を用いて〈どのようにして情報を集めるのか〉が書かれていない。</p> | | |
| | 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

文章を読んでもものの見方や考え方を広げるには, 読んで疑問に思ったことや関心をもったことを基にして, 新たな課題を見いだすような読み方が大切である。課題を追究することでテーマへの理解を深めたり視野を広げたりできるか, 解決の見通しが持てそうかななどを検討することが必要になる。その際, 次のようなキーワードを使って, 課題を見直してみるとよい。

- ・ 「なぜ～」（理由や根拠を掘り下げる）
- ・ 「どのように～」（状況や経緯，様子を詳しく調べる）
- ・ 「どうすれば～」（課題解決のための手段や方法を詳しく調べる）
- ・ 「どちらが～」（共通点や相違点を明らかにして比較する）

また，見出した課題を解決するためには，情報の収集が必要になる。情報を集める手段の特徴を理解し，自分の課題の解決に合った手段を選択して活用することが大切である。

次のようなことも参考にし，調べ方の見通しをもち，よりよい方法で情報を集めるようにする。

- ・ サイトにもさまざまなものがあるから，公式のサイトや県や市などが作っているサイトから調べる。そのホームページを誰が作っているかなどに着目して，信頼できる情報かどうか注意する。
- ・ 探してみた本に紹介されている参考文献や，ホームページのリンクに当たってみる。

（参照）

「平成 25 年度【中学校】解説書」P. 51～P. 56

http://www.nier.go.jp/13chousa/pdf/13kaisetsu_chuu_kokugo.pdf

「平成 25 年度【中学校】授業アイデア例」P. 9～P. 10

<http://www.nier.go.jp/jugyourei/h25/pdf/idea-jl-1.pdf>

「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力，判断力，表現力等の育成に向けて～【中学校版】」
国語－ 9， P. 35～P. 36

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/gengo/1306108.htm

平成 27 年度 P 調査 中学校 2 年国語 3 解説シート

◆出題の趣旨

落語に登場する人物の言動の意味を考え，その姿を想像することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

〔第 1 学年〕 C 読むこと

イ 文章全体と部分との関係，例示や描写の効果，登場人物の言動の意味などを考え，内容の理解に役立てること。

ウ 文章の構成や展開，表現の仕方について，根拠を明確にして自分の考えをまとめること。

◆解答類型

| | | | | 人 | % |
|---|---|---|-------------------------|---|---|
| 3 | 一 | 1◎ | 「1」と「5」と解答しているもの | | |
| | | 9 | 上記以外の解答 | | |
| | | 0 | 無解答 | | |
| | 二 | 1◎ | 「隣の部屋で様子をうかがう」と解答しているもの | | |
| | | 9 | 上記以外の解答 | | |
| | | 0 | 無解答 | | |
| | 三 | （正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 ① 松ちゃんの本当の気持ちを想像しながら，演じ方を書いている。 ② 【「まんじゅうこわい」のあらすじとせりふの一部】から，かぎかっこ（「」）を使って引用して，根拠としている。 ③ 50 字以上，80 字以内で書いている。 | | | |

| | | | |
|--|--|--|--|
| (正答例) | | | |
| ・ 松ちゃんは「こわい、こわい」と言っている間にも「うはは」と笑っている。こわがっているふりをして、仲間をうまくだまして喜んでいる。だから、大きな声で大きさに言う。 | | | |
| 1◎ | 条件①, ②, ③を満たしているもの | | |
| 2 | 条件①, ②を満たし, 条件③を満たさないで解答しているもの | | |
| 3 | 条件①, ③を満たし, 条件②を満たさないで解答しているもの (例) 松ちゃんは, おいしいまんじゅうをたくさん食べて, 仲間たちをうまくだませたと喜んでいると思うので, 声を小さくしたり大きくしたりして演じます。(69字) →【「まんじゅうこわい」のあらずじとせりふの一部】から「」を使って引用していない。 | | |
| 4 | 条件②, ③を満たし, 条件①を満たさないで解答しているもの (例) 松ちゃんは, 「ああ, 大変だあ。こわい, こわいよう。」と言っている。こわいという気持ちを表すために, 困った顔で, 震えた声で演じる。(63字) →松ちゃんの本当の気持ちが適切に書かれていない。 | | |
| 9 | 上記外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

文学的文章について、文章全体の面白さや雰囲気を楽しむには、文章の展開に沿って場面の様子を捉えたり、登場人物の言動の意味を考えたりすることが大切である。その上で、作品全体に表れたものの見方や考え方などについて自分の考えをもつことが、作品の内容を一層深く理解することにつながる。だから、落語の一場面の演じ方を考えることを通すことにより、話の展開や登場人物の心情などについて深く考えることができる。

演じ方を考えるには、話の展開や場面の描写、せりふなどに着目して登場人物の心情を想像することが大切である。どのような気持ちか、どのような演じ方がいいか、個人の考えをもち、グループや学級で交流することが必要である。

演じ方のポイントは、以下のような例がある。

| | |
|--------------------------|------|
| ○ 声 (大小, 強弱, 緩急, 間), 話し方 | ○ 表情 |
| ○ 動作 (体の向き, 身振り手振り など) | |

(参照)

「平成 26 年度【中学校】授業アイデア例」P. 13～P. 14

http://www.nier.go.jp/jugyourei/h26/data/mlang_05.pdf

「平成 26 年度【中学校】解説書」P. 184

http://www.nier.go.jp/14chousa/pdf/14kaisetsu_chuu_kokugo.pdf

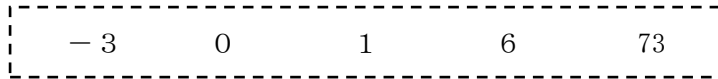
「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力, 判断力, 表現力等の育成に向けて～【中学校版】」
国語－ 9, P. 27～P. 28

平成 27 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 (1)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

(答えはすべて解答用紙に書きなさい。)

- 【 1 】 a を整数とすると、式 $3a$ で表すことのできる数を、次の中からすべて選びなさい。



- 【 2 】 次の問題と考え方を読んで、下の に当てはまる言葉を書きなさい。

問題

エンピツを何人かの生徒に配るのに、1 人に 3 本ずつ配ると 14 本余ります。また、1 人に 5 本ずつ配ると 10 本たりません。生徒の人数を求めるために、生徒の人数を x 人として、方程式をつくりなさい。

考え方

方程式をつくるために、 x を使って、上の問題の数量のうち、 を 2 通りの式で表すと、 $3x + 14$ と $5x - 10$ になります。

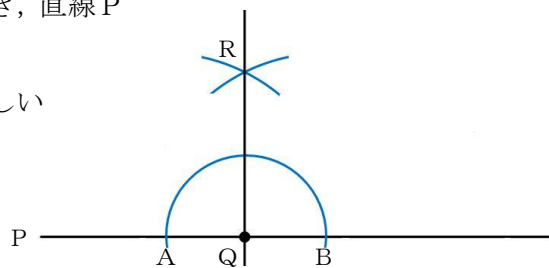
この 2 つの式が等しいので、方程式は $3x + 14 = 5x - 10$ です。

- 【 3 】 一次方程式 $3x + 7 = 12$ を解きなさい。

- 【 4 】 直線 P 上にある点 Q を通る垂線を、次の方法で作図しました。

作図の方法

- ① 点 Q を中心として適当な半径の円をかき、直線 P との交点を A、B とする。
- ② 2 点 A、B をそれぞれ中心として、等しい半径の円をかき、その交点を R とする。
- ③ 直線 QR をひく。



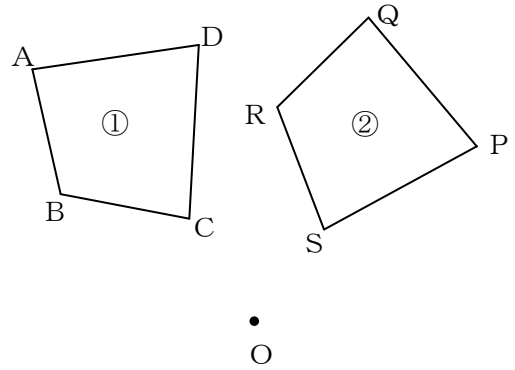
この方法で直線 P 上にある点 Q を通る垂線が作図できるのは、 $\triangle ABR$ が、ある性質をもつ図形だからです。その図形が、下のアからエまでの中にあります。正しいものを 1 つ選びなさい。

- ア 点 R を対称の中心とする点対称な図形
- イ 点 Q を対称の中心とする点対称な図形
- ウ 直線 QR を対称の軸とする線対称な図形
- エ 直線 P を対称の軸とする線対称な図形

平成 27 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 (2)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

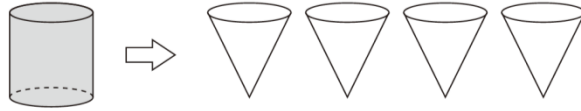
- 【5】 右の図で、四角形②は、四角形①を点Oを中心として、時計回りに 60° だけ回転移動させたものです。



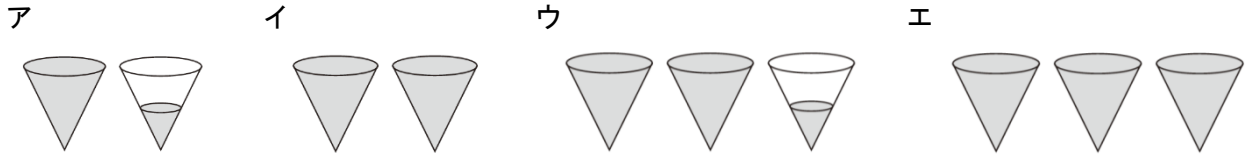
四角形②の辺PQに対応する四角形①の辺を、下のアからエの中から1つ選びなさい。

- ア 辺AB イ 辺BC
ウ 辺CD エ 辺DA

- 【6】 下の図は、円柱、円すいの形をした容器です。それぞれの容器の底面は合同な円で、高さは等しいことがわかっています。この円柱の容器いっぱいに入れた水を円すいの容器に移します。



このとき、下のアからエまでの中に、円柱の容器に入っていた水と同じ量の水を表している図があります。正しいものを1つ選びなさい。



- 【7】 下の表は、ある宅配会社たくはいの荷物の配達サービスの料金表です。

| | | | | |
|----|---------|---------|---------|----------|
| 重さ | 1 kg まで | 3 kg まで | 5 kg まで | 10 kg まで |
| 料金 | 120 円 | 310 円 | 540 円 | 820 円 |

このとき、10 kg までの荷物の重さと料金について「重さを決めると、それにもなって料金がただ1つ決まる」という関係があります。

下線部を、次のように表すとき、とに当てはまる言葉を書きなさい。

は の関数である。

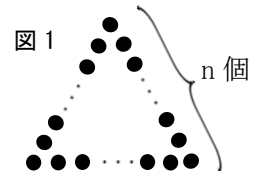
- 【8】 比例定数が 3 である反比例の式を、下のアからオまでのの中から1つ選びなさい。

- ア $y=3x$ イ $y=\frac{x}{3}$ ウ $y=2x+3$ エ $y=3x+2$ オ $y=\frac{3}{x}$

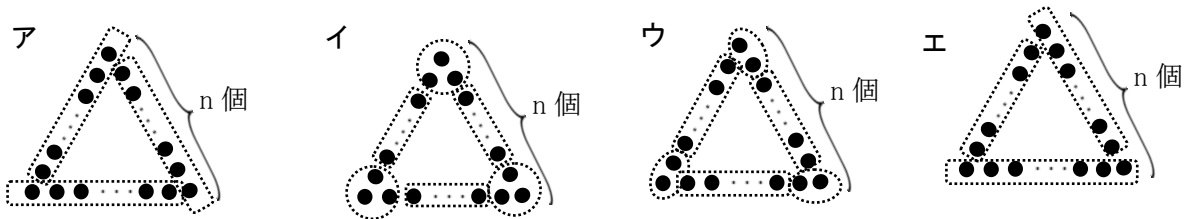
平成 27 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 (3)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

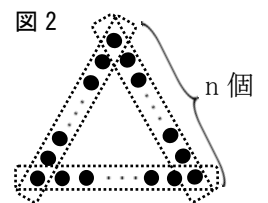
【 9 】 図 1 のように、一辺に n 個ずつ^{ごいし} 碁石を並べて正三角形を作り、碁石全部の個数を求めます。次の各問いに答えなさい。



(1) 図 1 で、碁石のまとまりを考えて、ある囲み方をすると、碁石全部の個数は、 $3(n-1)$ という式で表すことができます。その囲み方が、下のアからエまでの中にあります。正しいものを 1 つ選びなさい。



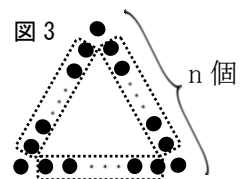
(2) 図 2 のような囲み方をすると、碁石全部の個数は、 $3n-3$ という式で表すことができます。碁石全部の個数を表す式が $3n-3$ になる理由は、次のように説明できます。



説明

正三角形の辺ごとにすべての碁石を囲んでいるので、1 つのまとまりの個数は n 個である。同じまとまりが 3 つあるので、このまとまりで数えた碁石の個数は $3n$ 個になる。このとき、各頂点の碁石を 2 回数えているので、碁石全部の個数は $3n$ 個より 3 個少ない。したがって、碁石全部の個数を求める式は、 $3n-3$ になる。

図 3 のように囲み方を変えてみると、碁石全部の個数は、 $3(n-2)+3$ という式で表すことができます。碁石全部の個数を求める式が $3(n-2)+3$ になる理由について、下の説明を完成しなさい。



説明

正三角形の辺ごとに頂点以外の碁石を囲んでいるので、1 つのまとまりの個数は、 $(n-2)$ 個である。

(解答用紙に書きなさい)

したがって、碁石全部の個数を表す式は、 $3(n-2)+3$ になる。

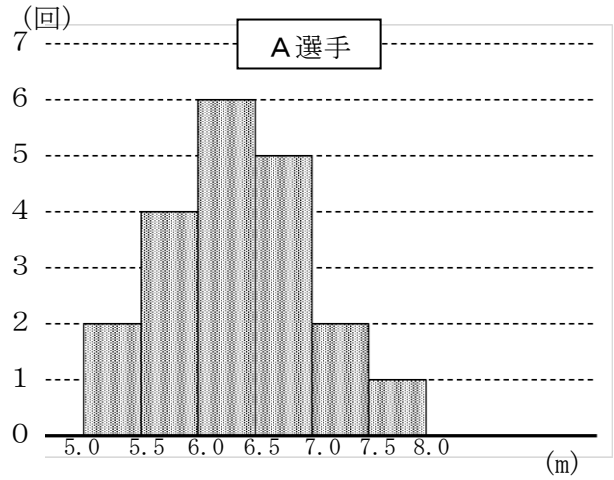
平成 27 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 (4)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

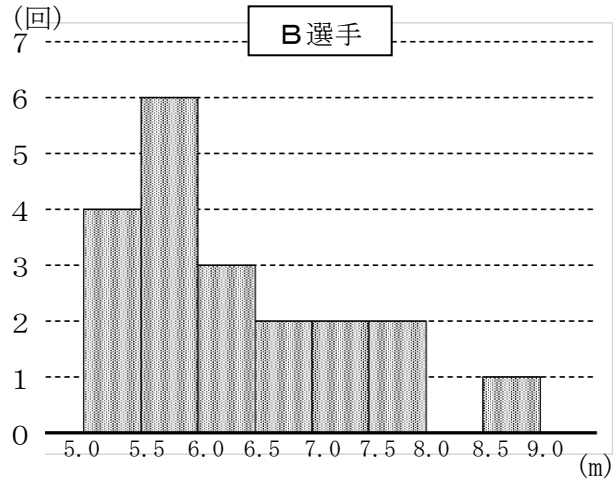
【10】 ある陸上チームでは，大会の砲丸投げに出場する選手を一人決めることになりました。

右の 2 つのヒストグラムは，候補の二人の選手が 20 回ずつ砲丸を投げた記録をまとめたものです。

例えば，このヒストグラムから，二人とも 7.0m 以上 7.5m 未満の記録を 2 回投げたことがわかります。



(1) A 選手のヒストグラムから，6.5m 以上 7.0m 未満の階級の相対度数を求めなさい。



(2) 二人のヒストグラムを比較して，そこから分かる特徴をもとに，より上位の記録を出しそうな選手を選ぶとすると，あなたはどちらの選手を選びますか。A 選手，B 選手の中から，どちらか一方の選手を選びなさい。また，その選手を選んだ理由を，二人のヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらの選手を選んで説明してもかまいません。

平成 27 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 解答用紙

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問 / 12 問

【1】

【9】
(1)

【2】

【3】 $x =$

【4】

【5】

【6】

【7】

①

②

【8】

【9】
(2)

正三角形の辺ごとに頂点以外の基石を囲んでいるので、1 つのまよりの個数は、 $(n-2)$ 個である。

したがって、基石全部の個数を表す式は $3(n-2) + 3$ になる。

【10】
(1)

【10】
(2)

【選んだ選手… ____ 選手】

【説明】

平成 27 年度 P 調査問題 中学校 2 年数学 解答 (例)

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

正答数

問 / 12 問

【1】 - 3, 0, 6

【9】
(1) ア

【2】 エンピツの本数

【3】 $x = \frac{5}{3}$

【4】 ウ

【5】 エ

【6】 エ

【7】 ① 料金
② 重さ

【8】 オ

正三角形の辺ごとに頂点以外の基石を囲んでいるので、1 つのまよりの個数は、 $(n-2)$ 個である。

(例)
同じまよりが 3 つあるので、このまよりで数えた基石の個数は $3(n-2)$ 個になる。
このとき、頂点の基石を数えていないので、基石全部の個数は、 $3(n-2)$ 個より 3 個多い。

したがって、基石全部の個数を表す式は $3(n-2) + 3$ になる。

【9】
(2)

【10】
(1) 0.25

【A 選手を選んだ場合】
(例) A 選手の記録の方が B 選手の記録より範囲が小さく、6.0m 未満を投げた合計の回数が少ないので、A 選手の方が上位の記録を出しそうな選手である。だから、A 選手を選ぶ。

【B 選手を選んだ場合】
(例) B 選手の記録の方が A 選手の記録より 7.0m 以上の階級の度数の合計が大きいので、B 選手の方が上位の記録を出しそうな選手である。だから、B 選手を選ぶ。

【10】
(2)

中学校 2 年数学【1】解説シート

◆出題の趣旨

文字の値が整数の時に、式の値について考察することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

◆解答類型

| 1◎ | -3, 0, 6 と解答しているもの | 人 | % |
|----|--------------------|---|---|
| 2 | 6 と解答しているもの | | |
| 3 | -3, 6 と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◆学習指導にあたって

- 数の範囲に基づいて式の値について考察できるようにする

整数、自然数について、互いに比較しながら整理するとともに、式の値については、例えば、0は 3×0 というように $3 \times (\text{整数})$ の形で表すことができるので、0は a を整数とすると式 $3a$ で表すことのできる数であることを確かめることが考えられる。

また、いろいろな整数を a に代入すると式 $3a$ の値がどれも3でわりきれ数になるが、1は3でわりきれないことを確かめる場面を設定することが考えられる。

中学校 2 年数学【2】解説シート

◆出題の趣旨

与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ることができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。

エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。

◆解答類型

| 1◎ | エンピツの本数 と解答しているもの (本数 と解答しているものも含む) | 人 | % |
|----|---|---|---|
| 2 | エンピツ と解答しているもの | | |
| 3 | 生徒の人数 と解答しているもの (生徒、人数 と解答しているものも含む) | | |
| 4 | 配り方 と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◆学習指導にあたって

- 事柄や数量の関係を文字式で表したり，その文字式の意味を読み取ったりすることができるようにする

様々な問題解決の場面で文字式を利用する際に，事象における数量の関係や法則を文字式で表したり，文字式で表された事柄や数量の関係を読み取ったりすることができるように指導したりすることが大切である。

そのために，具体的な数や言葉を使った式を利用して数量の関係をとらえ，文字式で表したり，その意味を解釈したりする場面を設定することが考えられる。

中学校2年数学【3】解説シート

◆出題の趣旨

簡単な一元一次方程式を解くことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 A 数と式

- (3) 方程式について理解し，一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。
ウ 簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。

◆解答類型

| | | 人 | % |
|----|--------------------------|---|---|
| 1◎ | $\frac{5}{3}$ と解答しているもの | | |
| 2 | $\frac{3}{5}$ と解答しているもの | | |
| 3 | $\frac{19}{3}$ と解答しているもの | | |
| 4 | $\frac{3}{19}$ と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◆学習指導にあたって

- 方程式を，根拠に基づいて的確に解くことができるようにする

方程式を解く際に，等式の性質に基づいて解を求めることができるようにすることが大切である。

例えば，方程式 について等式の性質を確かめながら解くとともに，説明し伝え合う活動を取り入れることが考えられる。また，求めた解をもとの方程式の左辺に含まれる文字に代入して，両辺の式の値が等しくなるかどうかを確かめる活動を取り入れることが考えられる。

中学校 2 年数学【4】解説シート

◆出題の趣旨

垂線の作図の根拠となる対称な図形を見いだすことができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第 1 学年 B 図形

- (1) 観察, 操作や実験などの活動を通して, 見通しをもって作図したり図形の関係について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに, 論理的に考察し表現する能力を培う。
 ア 角の二等分線, 線分の垂直二等分線, 垂線などの基本的な作図の方法を理解し, それを具体的な場面で活用すること。

◆解答類型

| | | | |
|----|-------------|---|---|
| 1 | ア と解答しているもの | 人 | % |
| 2 | イ と解答しているもの | | |
| 3◎ | ウ と解答しているもの | | |
| 4 | エ と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◆学習指導にあたって

- 作図の方法を図形の対称性に着目して見直すことができるようにする

作図の方法を見直し, その基になっている対称な図形の性質を理解できるように指導することが必要である。

例えば, 三角形 ABP が線対称な図形であることに着目すると, 直線 QR は対称の軸で $\angle AQR = \angle BQR = 90^\circ$ となることから, 垂線が作図できていることを確かめる活動を取り入れることが考えられる。

中学校 2 年数学【5】解説シート

◆出題の趣旨

回転移動の意味を理解しているかどうかをみる

◆学習指導要領との関連

第 1 学年 B 図形

- (1) 観察, 操作や実験などの活動を通して, 見通しをもって作図したり図形の関係について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに, 論理的に考察し表現する能力を培う。
 イ 平行移動, 対称移動及び回転移動について理解し, 二つの図形の関係について調べること。

◆解答類型

| | | | |
|----|-------------|---|---|
| 1 | ア と解答しているもの | 人 | % |
| 2 | イ と解答しているもの | | |
| 3 | ウ と解答しているもの | | |
| 4◎ | エ と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◆学習指導にあたって

- 移動前と移動後の図形を比較して2つの図形の関係を読み取ることができるようにする

移動前と移動後の図形を比較する機会を設定し、対応する頂点や辺の位置関係などを読みとることができるように指導することが必要である。

中学校2年数学【6】解説シート

◆出題の趣旨

円すいの体積を、底面が合同で高さが等しい円柱の体積との関係で理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 B 図形

(2) 観察、操作や実験などの活動を通して、空間図形についての理解を深めるとともに、図形の計量についての能力を伸ばす。

ウ 扇形の弧の長さと同面積並びに基本的な柱体、錐体及び球の表面積と体積を求めること。

◆解答類型

| | | | |
|----|-------------|---|---|
| 1 | ア と解答しているもの | 人 | % |
| 2 | イ と解答しているもの | | |
| 3 | ウ と解答しているもの | | |
| 4◎ | エ と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◆学習指導にあたって

- 柱体と錐体の体積の関係を実感を伴って理解できるようにする

柱体と錐体の体積の関係を実感を伴って理解できるようにすることが必要である。そのために、柱体の体積と錐体の体積との関係を予想し、その予想が正しいかどうかを、模型を用いたり実験による測定を行ったりして確かめる場面を設定することが考えられる。

中学校 2 年数学【7】解説シート

◆出題の趣旨

関数の意味を理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 C 関数

(1) 具体的な事象の中から二つの数量をとりだし、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。

ア 関数関係の意味を理解すること。

◆解答類型

| | | | |
|----|--------------------------------|---|---|
| 1◎ | ①に 料金 と解答し、 ②に 重さ と解答しているもの | 人 | % |
| 2 | ①に 重さ と解答し、 ②に 料金 と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◆学習指導にあたって

○ 様々な事象の考察を通して、関数の意味を理解できるようにする。

日常的な事象の中にある伴って変わる2つの数量の変化や対応の様子を調べ、それらの関係を見出す活動を取り入れ、関数の意味を理解できるようにすることが考えられる。例えば、重さ以外にも、1つの数量が変化すると「料金」も変化する事象を扱い、「・・・の料金は、・・・の関数である」という形で表現する活動を取り入れることが考えられる。

中学校 2 年数学【8】解説シート

◆出題の趣旨

比例定数が a である反比例の式は $y = \frac{a}{x}$ で表されることを理解しているかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 C 関数

(1) 具体的な事象の中から二つの数量をとりだし、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。

エ 比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること。

◆解答類型

| | | | |
|----|-------------|---|---|
| 1 | ア と解答しているもの | 人 | % |
| 2 | イ と解答しているもの | | |
| 3 | ウ と解答しているもの | | |
| 4 | エ と解答しているもの | | |
| 5◎ | オ と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◆学習指導にあたって

- 反比例の式の特徴を理解できるようにする

反比例の関係を式で表すことができるように指導することが大切である。

例えば、比例定数が a である反比例の式は $y = \frac{a}{x}$ で表されることや、比例定数の意味の理解を深める場面を設定することが考えられる。また、表、式、グラフを相互に関連づけながら、反比例の特徴を理解できるように指導することも考えられる。

また、比例と反比例の式を対比したり、一次関数の学習後に比例や反比例と一次関数の式を対比したりして、反比例について学び直す機会を設定することが考えられる。

中学校 2 年数学【9】解説シート

◆出題の趣旨

- (1) 数学的に表現された結果を事象に即して解釈することができるかどうかをみる
- (2) 事象を数学的に表現したり、数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることを通して、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することができるかどうかをみる

◆学習指導要領との関連

第 1 学年 A 数と式

- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。
ア 文字を用いることの必要性和意味を理解すること。

◆解答類型

(1)

| | | | |
|----|-------------|---|---|
| 1◎ | ア と解答しているもの | 人 | % |
| 2 | イ と解答しているもの | | |
| 3 | ウ と解答しているもの | | |
| 4 | エ と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

(2)

| | | | |
|--------|--|---|---|
| 正答の条件 | 次の(a), (b)について記述しているもの, または(c)について記述しているもの (a) $(n-2)$ 個のまとまりが3つあること。 (b) 基石全部の個数は, 3つのまとまりと頂点の基石の総数の和であること。 (c) $3(n-2)+3$ と同値な式を示し, その式で基石全部の個数を求められることがすでに問題文で説明されていること。 | | |
| 1 ◎ | (a), (b)について記述しているもの 例 $(n-2)$ 個のまとまりが3つあり, 基石全部の個数は $3(n-2)$ 個より3個多い | 人 | % |
| 2 ○ | (a)についての記述が十分でなく, (b)について記述しているもの 例 基石全部の個数は, $3(n-2)$ 個より3個多い | | |
| 3 | (a)のみ記述しているもの 例 $(n-2)$ 個のまとまりが3つある。 | | |
| 4 ◎ | (c)について記述しているもの 例 $3(n-2)+3$ を計算すると $3n-3$ になる。図2で基石全部の個数を求められることは説明されており, $3(n-2)+3=3n-3$ となるので。 | | |
| 5 ○ | (c)について, 「基石全部の個数を求められること」, 「問題文で説明されていること」のいずれか, またはその両方について記述していないもの 例 $3(n-2)+3=3n-3$ だから。 | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答 ○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

- 事象を数学的に表現したり, 数学的に表現された結果を事象に即して解釈したりすることができるようにする

事象を数学的に考察できるようにするために, 数量の関係や法則などを式に表したり式を事象に即して解釈したりする活動を取り入れることが考えられる。

例えば, 本問題利用して, 囲み方の特徴から基石全部の個数を式に表すととともに, 式の特徴から囲み方を見いだす活動を取り入れることが考えられる。

- 事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにする

事柄が成り立つ理由を事象に即して説明できるようにするために, 事柄の意味を事象に即して読み取り, 読み取った意味に基づいて, 説明する事柄(B)とその根拠(A)を明確に区別し, 「(A)であるから, (B)である。」のように的確に表現できるようにすることが考えられる。

例えば, 本問題を利用して, 囲み方と式 $3(n-2)+3$ を比べて, 式の「 $(n-2)$ 」が, 「頂点を除いた正三角形の一辺の基石の個数」を意味することや, 「 $+3$ 」が「数えていない頂点の基石の個数」を意味することなどを読み取る場面を設定することが考えられる。その上で, 囲み方に即して, 式 $3(n-2)+3$ で基石全部の個数を求められる理由を説明できるようにすることが考えられる。

- 事象を多面的にみるができるようにする

事象を多面的にみることができるようには、問題解決に必要な視点の明らかにし、それを基に事象を考察し直し、様々な事柄を見いだすとともに、見いだした事柄を基に事象で成り立つ様々な性質や関係を捉える活動を取り入れることが考えられる。

例えば、1辺に n 個ずつ基石を並べた正方形について、辺ごとにすべての基石が囲まれている場合から、「同じまとまりをつくる」ことや「過不足を調える」ことなどの視点を明らかにし、それを基に、囲み方を工夫し、基石全部の個数を様々な式で表す活動を取り入れることが考えられる。

また、 $3(n-2)+3$ を $3(n-1)$ などに変形し、得られた式を事象に即して解釈して、様々な囲み方を見いだす活動を取り入れることも考えられる。

中学校2年数学【10】解説シート

◆出題の趣旨

- (1)与えられたヒストグラムについて、ある階級の相対度数を求めることができるかどうかをみる。
 (2)資料の傾向を的確にとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

◆学習指導要領との関連

第1学年 D 資料の活用

- (1) 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようにする。
 ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること。
 イ ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。

◆解答類型(1)

| | | 人 | % |
|----|---|---|---|
| 1◎ | $0.25 \left(\frac{1}{4} \right)$ と解答しているもの | | |
| 2 | 5 と解答しているもの | | |
| 3 | 4 と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

(2) (①, ②, ③, ④は、右の正答の条件による)

| | | 人 | % | |
|----|---------|---|---|--|
| 1◎ | A | | | (正答の条件) 二人のヒストグラムを比較して、次のことについて記述しているもの。 <A選手を選択した場合> ①: A選手の6.0(5.5)m未満の階級の累積度数が小さいこと。または、6.5(6.0)m以上の階級の累積度数が大きいこと。 ②: A選手の方が範囲が小さいなど、A選手が選ばれる根拠となるヒストグラムの特徴。 <B選手を選択した場合> ③: B選手の7.0(7.5)m以上の階級の累積度数が大きいこと。 ④: B選手の最大値を含む階級の中央の値が大きいことなど、B選手が選ばれる根拠となるヒストグラムの特徴。 |
| 2○ | 選手を | | | |
| 3 | 選択 | | | |
| 4 | 選択 | | | |
| 5◎ | B | | | |
| 6○ | 選手を | | | |
| 7 | 選択 | | | |
| 8 | 選択 | | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | | |
| 0 | 無解答 | | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答(準正答)

◆学習指導にあたって

○ 相対度数の必要性和意味について理解できるようにする

生徒にとって身近な場面で、資料を収集して、その資料の傾向を調べる際、総度数が異なる場合が多い。意図的にそのような場面を取り上げ、階級の度数をそのまま比較することが適切でないことを実感できるようにすることで、相対度数の必要性和意味について理解できるように指導することが考えられる。

○ 判断の理由を数学的な表現を用いて的確に説明できるようにする

説明する事柄(B)とその根拠(A)を明確に区別し、「(A)だから(B)である」のように的確に説明できるようにすることが大切である。

また、生徒の説明には、日常的な表現が多くみられるので、これらを数学的に表現することで、よりの確な説明に洗練する場面を設定することが考えられる。例えば、「A選手を選ぶ」ことの根拠として、「A選手の方が安定しているから。」という生徒の表現を取り上げ、「安定している」ことについて話し合う場面を設定し、「範囲が小さい」など統計的な指標を適切に用いて表現できることを確認し、「A選手の記録の方が範囲が小さく。」のように表現できるようにすることが考えられる。

平成 27 年度 P 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

※答えは、すべて解答欄に書きなさい。

1 次の英文を読んで、【1】から【4】の各問いに答えなさい。

<ALT のマイク (Mike) と男子中学生の次郎 (Jiro) が、スポーツについて話をしています。話の途中で、マイクは弟のポール (Paul) の写真を見せています。>

Jiro: What's your favorite sport, Mike?

Mike: My favorite sport is basketball.

Jiro: Basketball? I don't like basketball. It's not easy.

Mike: I can't play it well, but it's fun. My brother, Paul, likes it.

Jiro, please look at this picture.

Jiro: What is he doing?

Mike: He is ① (play) basketball. He is a good basketball player.

What's your favorite sport, Jiro?

Jiro: I like tennis. I play it every Sunday.

Mike:

Jiro: In the park near my house. Let's play together!

[注] fun : おもしろいこと together : 一緒に

【1】下線部①の () 内の語を、最も適切な形になおして1語で書きなさい。

【2】前後の文のつながりを考えて、 内に当てはまる最も適切な文をア～エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

- ア When do you play it?
イ What do you play?
ウ Which do you play, basketball or tennis?
エ Where do you play it?

◇本文の内容について【3】、【4】の質問に英語で答えなさい。答えは () 内に1語ずつ書きなさい。

【3】 Does Jiro like basketball and tennis?

(), () ().

【4】 What sport does Paul like?

() () ().

2 次の英文を読んで、【5】から【7】の各問いに答えなさい。

<日本に留学中のベッキー (Becky) は友だちの太郎 (Taro) と過ごしたお正月のことを日記に書きました。

Saturday, January 2nd

②Yesterday I went to a temple with Taro at five in the afternoon. I saw many people.

They threw some coins in a box and put their hands together.

After that, I went to Taro's house at six. His mother made ozoni for me. Taro and I ate it.

③(cooked / very well / it / she). Then, Taro and I played karuta with her. We had a very good time. I came home at nine. I went to bed at ten.

[注] temple : お寺 threw some coins in a box and put their hands together : さい銭箱にお金を投げ入れ、手を合わせた made : make の過去形 ozoni : お雑煮 ate : eat の過去形 play karuta : カルタをする

【5】下線部②はこの日記では何曜日にあたるか、その曜日を英語1語で書きなさい。

【6】下線部③が「彼女はそれをとても上手に料理しました」という意味になるように、()内の語句を並びかえて書きなさい。

【7】本文の内容に当てはまる文をア～エの中から一つ選び、記号を書きなさい。

- ア ベッキーは、1月2日のことを日記に書いた。
イ ベッキーと太郎は、朝5時にお寺に行った。
ウ 太郎の母親は、ベッキーのためにお雑煮を作り、カルタを一緒にした。
エ ベッキーは、太郎の家で4時間楽しい時間を過ごした。

3 次の【8】から【10】の各問いに答えなさい。

【8】次の対話が自然な流れになるように、, に当てはまる最も適切な組み合わせを下のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

< 恵美 (Emi) がポール (Paul) に電話をしています。 >
Paul: Hello?
Emi: Hello. This is Emi. Is Paul there?
Paul: Hi, Emi. This is Paul.
Emi: Hi, Paul.
Can you help me with my homework at the library?
Paul: At the school library?
Emi: Yes. What time can we meet there?
Paul: I can meet you there after lunch.
Emi: OK.

〔注〕 at the library : 図書館で meet : 会う there : そこに, そこで

- ア A : Sure. B : I'm having lunch now.
イ A : I'm sorry. B : I usually eat lunch at the library.
ウ A : No, I can't. B : It's ten o'clock.
エ A : Well... B : It's six thirty.

【9】英語の授業中に、由紀(Yuki)はALTの先生から下線部①のように話しかけられた。由紀は、「自分の持っている辞書(dictionary)をケビン先生が使いたいのだろう」と考え、吹き出しの内容のように答えて、机の中にあつた辞書を手渡した。吹き出しの部分にあてはまる英文を2文書きなさい。

ALT: Yuki, ① do you have a dictionary?

Yuki: 

ALT: Thank you.

【10】あなたが放課後することについて1つ取り上げ、次の条件に従って英語2文で書きなさい。

【条件】

- ① 1文目は、あなたがふだん放課後にすることを英語で書くこと。
② 2文目は、1文目の内容についてのあなたの考えや気持ち、付け加えの事実などを英語で書くこと。

解答用紙

平成 27 年度 P 調査問題 中学校 2 年英語

正答数

問／10 問

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

[解答欄]

| | | |
|---|------|---------------|
| 1 | 【1】 | |
| | 【2】 | |
| | 【3】 | (), () (). |
| | 【4】 | () () (). |
| 2 | 【5】 | |
| | 【6】 | (). |
| | 【7】 | |
| 3 | 【8】 | |
| | 【9】 | ----- |
| | 【10】 | ----- |

正答例

正答数

問／10問

平成 27 年度 P 調査問題 中学校 2 年英語

2 年 () 組 () 番 氏名 ()

[解答欄]

| | | |
|---|------|---|
| 1 | 【1】 | playing |
| | 【2】 | エ |
| | 【3】 | (No), (he) (doesn't). |
| | 【4】 | (He) (likes) (basketball). |
| 2 | 【5】 | Friday |
| | 【6】 | (She cooked it very well). |
| | 【7】 | ウ |
| 3 | 【8】 | ア |
| | 【9】 | 【例】 Yes, I do. 【例】 You can use it. |
| | 【10】 | 【例】 I play volleyball. 【例】 I like it very much. |

その他の解答例

1 文目 : Yes.

2 文目 : Here you are.

1 文目 : My dictionary?

2 文目 : OK.

等

その他の解答例

1 文目 : I go to my club.

2 文目 : I play tennis.

1 文目 : I go home.

2 文目 : I studied English yesterday.

等

中学校 2 年英語【1】解説シート

◆出題の趣旨

対話の場面の状況に応じた表現となるように、動詞を活用することができるかどうかをみる問題である。ここでは、前の文“**What is he doing?**”や直前に be 動詞の is があることから判断して、一般動詞（現在）を進行形に直すことが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(3) 言語材料

エ 文法事項 (エ) 動詞の時制など

現在形、過去形、現在進行形、過去進行形、現在完了形及び助動詞などを用いた未来表現

◆解答類型

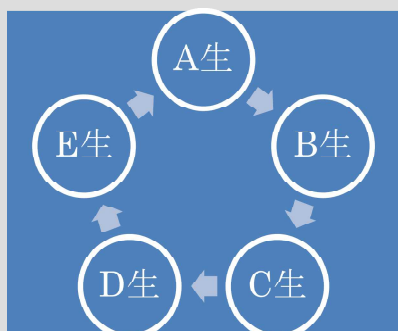
| 1◎ | playing と解答しているもの | 人 | % |
|----|-------------------|---|---|
| 2 | plays と解答しているもの | | |
| 3 | play と解答しているもの | | |
| 4 | played と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

◆学習指導にあたって

進行形の導入では、教師や ALT が実際に動作をしながら、場面と関連付けて表現を理解することができるようにしましょう。その後、口頭練習や音声による練習を十分行い、さらに、主語と be 動詞、～ing の関係に着目して書かせることで定着を図りましょう。

◇口頭練習では、メカニカルな繰り返しだけでなく、生徒が考えて発話できるように工夫しましょう。グループワークを取り入れると積極性が高まります。



- A 生：自分の動作を表現する
- B 生：A 生のことを伝える
- C 生：A 生のことを伝える
- D 生：A 生のことを尋ねる
- E 生：関連する質問をする

※質問のパターンを変えると 3 人、4 人グループでも行うことができます。

【口頭練習の例】 5 人グループで行うリレートーク

- A 生：I'm playing tennis now.（動作をしながら）
- B 生：Oh, you're playing tennis now.
- C 生：A is playing tennis now.
- D 生：Is A playing tennis now?
- E 生：Yes, he is. A, do you like tennis?
- A 生：Yes, I do. I really like it.

※場面の中で、自分の役割を考え、be 動詞の使い方や疑問文と答え方について考えながら発話する。

※下線部をグループで考えさせると、各グループの発想をさらに生かすことができる。

※発表会を行うことでそれぞれのグループのよさを共有することができる。

中学校2年英語【2】解説シート

◆出題の趣旨

本文の中から手がかりとなる語句や表現を見つけ、選択肢の中から適切な英文を選択することができるかどうかをみる問題である。ここでは、Mike と Jiro が好きなスポーツについて話題にしているということを理解して、Jiro がテニスについて述べているということや “In the park near my house.” が場所について答えているということから判断して、「どこでテニスをしますか」という内容の英文を適切に選ぶことが求められる。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

◆解答類型

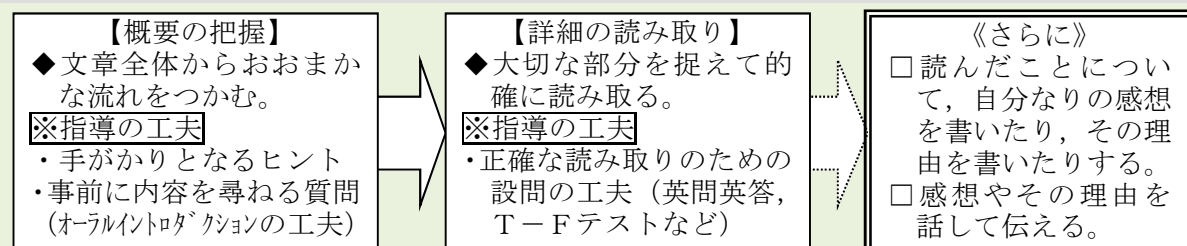
| | | | |
|----|-------------|---|---|
| 1 | ア と解答しているもの | 人 | % |
| 2 | イ と解答しているもの | | |
| 3 | ウ と解答しているもの | | |
| 4◎ | エ と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

概要の把握→詳細の読み取りへ。3種類の質問を用いて読み深めていきましょう。

◇「読むこと」の指導では、書き手が伝えたいことを正確に読み取ることが大切です。そのために主人公は誰か、話がどのように展開していくのかなど、おおまかな流れをつかんだ上で、大切な部分を捉えて的確に読み取る力を付けていきましょう。その際、まず、【概要の把握】として、キーワード等をもとに内容を推測し、それらを関連させて概要をつかませます。次に【詳細の読み取り】として、事実や事柄を的確に捉えさせるために、設問を工夫するなどして詳細を理解できるようにします。さらに、「読んだ」感想を「書いて」まとめたり、「書いた」事柄を「話して」伝えたりするなど、他の領域の言語活動と関連付ける指導の工夫も大切です。



3種類の質問 (fact-finding Q, inferential Q, personal Q) を段階的に用いましょう。

中学校2年英語【3】解説シート

◆出題の趣旨

本文の内容について、簡単な質問を理解し、Yes か No を使って適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは、本文中の“I don’t like basketball.”や“ I like tennis.”の2文に着目し、basketball と tennis の両方が好きなわけではないということを理解することと、Jiro を代名詞の he にかえること、Does が疑問文の文頭にきているため、No の答え方では文末を doesn’t にすることが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。

(3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞(can, do, may など) で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why)で始まるもの

◆解答類型

| 1◎ | No he doesn't と解答しているもの | 人 | % |
|----|----------------------------------|---|---|
| 2 | No～と解答しているが、主語が he でないもの | | |
| 3 | No he～と解答しているが、最後が doesn't でないもの | | |
| 4 | Yes ～と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

尋ねられたことに対し、どのように答えればよいのかを理解させ、言語活動を繰り返す中で確実に身に付けることができるように指導しましょう。

◇be 動詞と一般動詞の yes-no 疑問文と、その応答の仕方について基本的な特徴を理解させることに留意し、聞いたり読んだりしたことなどについて問答するような言語活動に繰り返し取り組めるようにしましょう。その際、答えを書いて確認させたりするなどして、確実な定着を図りましょう。

尋ねられた内容について Yes かな No かな。

尋ねられた内容が述べられている箇所はどこかな。内容に照らし合わせて判断しよう。

答えの文ではどの代名詞を使えばよいかな。

Jiro についてだから、he を使うといいな。

答えの文末はどんな形かな。

ここでは、Does で尋ねられているから、答えの文末に does を付けて答えればよさそうだな。No だから does not あるいは doesn't だな。

中学校 2 年英語【4】解説シート

◆出題の趣旨

本文の内容について、疑問詞を使った簡単な質問を理解し、適切に答えることができるかどうかをみる問題である。ここでは、Mike の兄弟の Paul について「どんなスポーツが好きか」を尋ねていることが分かり、本文中の“My brother, Paul, likes it.” の it が basketball を示していることを読み取り、Paul を代名詞 he にかえて、適切に答えていくことが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

エ 書くこと (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。

(3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞(can, do, may など) で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why)で始まるもの

◆解答類型

| | | | |
|----|---|---|---|
| 1◎ | He likes basketball と解答しているもの | 人 | % |
| 2 | Paul likes basketball と解答しているもの | | |
| 3 | He likes ～と解答しているが、最後が basketball でないもの | | |
| 4 | He(Paul) like basketball と解答しているもの | | |
| 5 | Yes ～/ No ～と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

wh-疑問文とその応答の仕方について、口頭練習や書く活動を通して確実に身に付けさせましょう。

◇教科書本文内容についての QA 活動では、Yes / No 疑問文に加え、5W1H についても問うようにしましょう。また、short answer, full answer のそれぞれのパターンでの答え方について、口頭だけでなく書かせることで確実に身に付けさせましょう。

- ①教科書本文等の読み取りでは、読み取りの一助として代名詞 (he, she, it, they 等) が何 (誰) を示すか、不定冠詞の a(an), 定冠詞の the の意味の違い (a book, the book の違い) 等に着目させましょう。
- ②疑問詞を使った簡単な質問 (疑問文) の意味が理解できているか確認しましょう。
- ③文中のどの英文についての質問なのかなど、根拠となる英文にアンダーラインを引く習慣を身に付けさせましょう。
- ④教科書本文の QA 活動などで、5W1H などの様々な疑問文に対して書いて答えることができるようにしましょう。
- ⑤口頭練習や書く活動の中で確実な定着を図りましょう。

中学校 2 年英語【5】解説シート

◆出題の趣旨

中学 1 年生で指導する語を英語で正しく書く力をみる問題である。ここでは、yesterday が「昨日」という意味であることや Saturday（土曜日）の前の日が Friday（金曜日）いうことを理解して、正しく書くことが求められる。

◆学習指導要領との関連

- (3) 言語材料 ウ 語，連語及び慣用表現
(ア) 1200 語程度の語

◆解答類型

| 1◎ | Friday と解答しているもの | 人 | % |
|----|--|---|---|
| 2 | friday と単語の始まりを小文字で解答しているもの | | |
| 3 | Fridai, fryday 等（綴りの誤り）と解答しているもの | | |
| 4 | Friday, Saturday 以外の「曜日」の名称を正しく書いているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

曜日，月，数字などの基本的な語句は，日本語との違いや発音と綴りの関係に留意しながら指導しましょう。また，十分な口頭練習や学習カードやノートに書くなどして確認に定着を図りましょう。

◇日常生活でよく用いられる曜日，月，数字のような基本的な語句を発音した後，綴りを確認しながら正しく書く場面を仕組みましょう。

7つの曜日が英語で言えるかな。

サンデー，マンデー，チューズデー，ウェズデー，サスデー・・・。

しっかりと覚えていきますね。では，7つの曜日を英語で書いてみよう。

サンデーだから“Sandeï”かな・・・。綴りを確認してみよう“Sunday”だ。発音と綴りは違うぞ！！

※綴りと発音の関係で注意が必要な語については，特に注意しましょう。

“Wednesday”は[d]と2つめの[e]は発音していません。注意して書いてください。

“W-e-d-n-e-s-d-a-y” 綴りは「ウェドネステイ」で覚えよう。発音は「ウェズデー」だ。注意して覚えよう。

◇授業開始時に，日付，曜日，時間などを全体で確認し，学習カードや授業用ノートにその日の日付を英語で書いたり，家庭学習の際にも，家庭学習用ノートやプリントに英語で日付，曜日を書いたりするなど，日常的に書く工夫をして定着を図りましょう。

中学校2年英語【6】解説シート

◆出題の趣旨

「主語＋動詞＋目的語」の語順の定着をみる問題である。ここでは、主語と動詞、目的語がどれであるかを判断することや「とても上手に」に当たる“very well”の位置にも注意して、正しく並びかえることが求められる。

◆学習指導要領との関連

2 内容

(1) 言語活動

エ 書くこと (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

◆解答類型

| | | | |
|----|--|---|---|
| 1◎ | She cooked it very well.と解答しているもの | 人 | % |
| 2○ | she cooked it very well.と文頭を小文字で解答しているもの | | |
| 3 | 語順は正しいが、単語の綴りを間違えているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答（準正答）

◆学習指導にあたって

英語は、語順が大切であることを伝え、語順に着目させると同時に、英語と日本語の語順の違いも意識させましょう。

◇「主語」と「動詞」を見つけさせ、語順を意識付けましょう。

主語になりそうな語はどれかな。
何について言っている部分かな。

文の前後から太郎の母親のことを書いているから、**she**が主語だな。

動詞になりそうな語はどれかな。

itはお雑煮のことだから、**cooked it**でよさそうだな。

では、語順を意識して文を書いてみよう。

文頭は大文字なので**She**と書き、「とても上手に」の意味の**very well**は文の最後だな。

◇英語と日本語との違いを意識させましょう。(英語は、語順が大切であることを伝えましょう。)

Taro likes Hanako.の意味は？

Taroが主語になるので、「太郎は」となり、Hanakoはlikeの目的語となるので、「花子を」となり、「太郎は花子を好きです。」という意味になるぞ。

日本語で「太郎は花子を好きです。」と「花子を太郎は好きです。」とではどちらも同じ意味ですが、英語でTaroとHanakoを入れ替えると、どうなるでしょう。

Hanako likes Taro.とHanakoとTaroを入れ替えると、「花子は太郎を好きです。」となり、英語では、意味が変わってしまうな。

中学校 2 年英語【7】解説シート

◆出題の趣旨

英語で書かれた本文の内容について読み取ることができるか、本文の中から手がかりとなる語句や表現を見つけ、それをもとに、選択肢の中から英文内容に適したものを選択することができるかどうかをみる問題である。ここでは、“January” “yesterday” “in the afternoon” “at six” など、日時を表す言葉と本文の内容から正誤を判断したり、“His mother made *ozoni* for me.”と“Taro and I played *karuta* with her.”から“her”が太郎の母親であることに着目したりして、選択肢の中から適切な内容を選ぶことが求められる。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

ウ 読むこと (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。

◆解答類型

| | | | |
|----|-------------|---|---|
| 1 | ア と解答しているもの | 人 | % |
| 2 | イ と解答しているもの | | |
| 3◎ | ウ と解答しているもの | | |
| 4 | エ と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

2種類の読み方 (Skimming と Scanning) を用いて、正確な読み取りにつなげましょう。

◇中学校学習指導要領解説 外国語編 言語活動の指導事項 ウ 読むこと

(ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること より

「例えば、物語では、どんな登場人物がいるのか、主人公は誰か、話がどのように展開していくのかなど、大まかな流れをつかみながら読み取ったり、説明文では、特に中心となる事柄など大切な部分をとらえて的確に読み取ったりすることである。」



◇指導の具体

読む目的と題材内容に応じて2種類の読み方ができるよう、指示や発問を工夫しましょう。

◎Skimming(大まかな流れをつかみながら読む)を使った読ませ方

- ・ 5W1H を中心に読み取っていけるように、登場人物などのキーワードに○を付けさせたり、時系列に出来事を表にまとめていくなどして読み取らせていく。

◎Scanning(中心となる事柄など大切な部分を捉えて読む)を使った読ませ方

- ・ 手がかりとなる語句や表現をヒントとして与えたり、事前に内容を尋ねる質問をしたり、また設問の仕方に工夫をしたりするなどして読み取らせていく。

中学校2年英語【8】解説シート

◆出題の趣旨

会話内容にまとまりをもたせながら、積極的に会話を継続し発展させていくため、紋切り型の応答や一往復だけの言葉のやりとりで会話を終わらせるのではなく、必要な表現を用いて会話を継続させることができるかをみる問題である。ここでは、EmiのCan you help me with my homework at the library?という発話に対して、その後の発話“At the school library?”“Yes.”の流れから、賛同している相づち等を選び、また、その後の発話“What time can you go there?”“I can go there after lunch.”から、お昼に関することの表現を選ぶなど、複数の情報を関連させて適切な表現を選ぶことが求められる。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

イ 話すこと (エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。

◆解答類型

| 1◎ | ア と解答しているもの | 人 | % |
|----|-------------|---|---|
| 2 | イ と解答しているもの | | |
| 3 | ウ と解答しているもの | | |
| 4 | エ と解答しているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

◆学習指導にあたって

普段からつなぎ言葉や相づちをうつ表現に慣れ親しませながら、会話を継続する大切さを実感できるような場面設定や指導の工夫をしていきましょう。

○場面設定を明確にし、目的をもたせた上で対話活動を行うことで、必要な表現や技法を用いて会話を継続・発展させていけるように指導の工夫をしていきましょう。



そのために、

◇帯活動などを通して、話を継続したり発展させたりすることに慣れ親しませましょう。

- ・ Let me see. や Well, など、会話を続けるために用いられる表現を練習する。1分間対話などの帯活動を位置付ける。使えた表現を蓄積していけるよう指導する。

◇「いろいろな工夫」をして気持ちや考えを伝えるよさを指導しましょう。

- ・ 会話を続けたり発展させたりするために、相手に質問をしたり、知らない表現については、身振り手振りや既習の表現などを使い、何とかして自分の考えを伝えようとする意欲を評価する。(単元の評価計画の中に、評価規準として意図的に位置付ける。)
- ・ 相手が話しやすいように、I see. や Sure. など、相づちをうつ表現を適宜用いるように、教師がモデルとして示したり、指導したりする。

中学校2年英語【9】解説シート

◆出題の趣旨

対話が行われている場面を理解し、問答の意味を考え、条件に合うように、英語を使って適切に応じることが求められる。

◆学習指導要領との関連

(2) 言語活動の取扱い ア (ウ) [言語の働きの例]

d 考えや意図を伝える

(3) 言語材料 エ 文法事項 (ア) 文

d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞 (can, do, may など) で始まるもの、or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why) で始まるもの

正答例

例1) Yes, I do. You can use it.

例2) Yes. Here you are.

◆解答類型

| | | | |
|----|--|---|---|
| 1◎ | 辞書を借りたいという ALT の意向を汲んで、正しい英文2文で答えているもの | 人 | % |
| 2○ | 辞書を借りたいという ALT の意向を汲んで、英文2文で答えているが、英文に綴りのミスや文法的な間違いがあるもの | | |
| 3 | 辞書を借りたいという ALT の意向を汲んで、正しい英文1文で答えているもの | | |
| 4 | 辞書を借りたいという ALT の意向を汲んでいるとは判断できないが、英文2文で答えているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件すべてを満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答 (準正答)

◆学習指導にあたって

コミュニケーション活動を行う際は、話し手や聞き手の意向を正しく理解して取り組めるよう適切な場面を設定し、考えや気持ちなどを正しく伝え合う活動を行きましょう。

◇考えや気持ちを伝え合う活動においては、具体的な場面や状況に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができるよう工夫しましょう。

- ①具体的で分かりやすい場面を設定し、その場面にふさわしい表現をいくつか提示し、その中から、話し手の意向に沿って表現を選択できるようにする。
- ②考えや気持ちを伝え合う意欲を大切に、「正確さ」だけでなく「適切さ」を観点に表現を振り返るような場を授業に位置付けていく。
- ③帯活動等で、既習事項を活用してコミュニケーションを図る場を意図的に設定する。

中学校 2 年英語【10】解説シート

◆出題の趣旨

「ふだん放課後すること」について、内容的に関連づけて英語 2 文で書くことができるかどうかをみる問題である。ここでは、書く内容を構想する力、正しく文を書く力が求められる。

◆学習指導要領との関連

(1) 言語活動

エ 書くこと (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。

正答例 2 文で完答とします。

例 1) I play volleyball. I like it very much.

例 2) I (usually) go to my club. I play tennis.

例 3) I (usually) go home. I studied English yesterday.

◆解答類型

<解答類型> ①, ②, ③, ④については下の正答の条件を参照。

正答の条件

- ① 1 文目は、ふだん放課後することについて現在形を使って文法的に正しく書けている。
- ② 2 文目は、1 文目に書いた内容について自分の考えや気持ち、付け加えの事実が入って書いている。(時制は、現在形でも過去形でもよい。)
- ③ 2 文とも、動詞の活用についての綴りミスをしていない。
- ④ 動詞の活用以外の単語に綴りミスをしていない。

| | ①, ②, ③, ④ をすべて満たすもの | 人 | % |
|----|------------------------------------|---|---|
| 1〇 | ①, ②, ③ を満たすもの | | |
| 3 | 1, 2 以外であるが、内容的に理解できる 2 文が書かれているもの | | |
| 4 | 内容的にも文法的にも正しいが、1 文だけ書かれているもの | | |
| 5 | 文法的な間違いがあるが、内容的に理解できる 1 文が書かれているもの | | |
| 9 | 上記以外の解答 | | |
| 0 | 無解答 | | |

◎解答として求める条件をすべて満たしている正答

○設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答 (準正答)

◆学習指導にあたって

「まとまりのある文章を正しく書く」ために、段階を踏んで指導していきましょう。

◇「まとまりある文章を正しく書く」ための段階を踏んだ指導 (例)

- ① 身近な事柄や自分の考え、気持ちなどを表すために必要な文法事項や表現等を教科書で学習したあと、生徒が書く必要感がもてる場を設定した上で、書く活動を位置付けましょう。
- ② 書く見通しをもたせるために、教科書本文をもとに書く型を示したり、教師のモデルから活用できる表現に気付かせたりするなどの指導の工夫をしましょう。
- ③ 文の完成後は、観点を明確にして生徒同士で読み合ったり、教師が添削をしたりして、生徒が英文の内容や構成、正しさに目を向けるような場を位置付けましょう。
- ④ 英文を正しく書く力の定着を図りましょう。
 - ・完成した英文を読んだり発表したりする活動を位置付け、文の語順や英文同士のつながりなどに着目できるよう指導しましょう。
 - ・家庭学習は、授業で学習した内容をもとに課題を出しましょう。